

豊陵會報

Vol.95

2014年4月
(平成26年)

We are friends forever



豊中応援寄附金

～ がんばるとよなかを応援してください～

寄附金の活用については、10項目の寄附メニューからご指定いただけます。



豊中市キャラクター
「マチカネくん」

ご寄附の申込・お問い合わせ

詳しくは QR コードから

もしくは『ふるさと納税 豊中市』で検索

豊中市 財務部財政室 ☎ 561-8501 大阪府豊中市中桜塚 3-1-1 (第一庁舎 3 階) 電話 06-6858-2799

豊中市

卒業生と在校生の絆をさらに強く・深く そして会員名簿発行にご協力を

豊陵会報発行に寄せて

豊陵会会長 永田 武全



早いもので私が豊陵会の会長に就任しましてから、2年以上が経過致しました。この間の会員の皆さんのご支援・ご協力に対し、あらためて心より感謝申し上げます。

さて私は豊陵会会長として、「開かれた豊陵会」「参加する豊陵会」をテーマとして同窓会活動を行って参りましたが、加えて昨年のこの会報でも申し上げましたように、同窓会と母校、卒業生と在校生の交流・「絆」の強化にも力を入れて取り組んでおります。従来から行っております社会人として活躍する卒業生から在校生に対する「職業別進路講演会」に引き続き協力すると共に、昨年の豊陵会総会では母校の「吹奏楽部」の皆さんをお迎えして演奏会を催し「好評を頂きました。今年の総会でも「在校生シリーズ第2弾」として、母校の「ダンス部」の皆さんをお迎えする予定にしております。また今年から1年生の「現代社会」の授業において、生徒に豊中高校並びに豊陵会の歴史を講義するカリキュラムを作っていました。これによって在校生に、母校の歴史と同窓会に対する関心や興味が高まってくればと願っております。

すでにホームページ等でお知らせしております通り、今般2008年以来となります「豊陵会会員名簿」の発行を最終決定し準備に取り掛かっております。会員の皆さんには今後個人調査票への近況の記入、名簿への広告の掲載、名簿の購入等のご協力をお願いすることになります。が、どうぞ宜しくお願い致します。

最後に会員の皆さんにはこうした豊陵会活動に積極的に参加頂きますと共に、その活動をさらに盛り立てるために、「豊陵会協力金」の振り込み等のご支援をお願い致しまして、豊陵会報発行にあつては「挨拶とさせていただきます」。

(高15 ながた・たけはる)

「会員名簿」来年秋に発行

編集・広告・販売の3体制で

豊陵会が来年秋の「豊陵会会員名簿」発行を目指して始動することを正式に決定した。

永田武全会長は2月19日の豊陵会評議員会で就任3年目にあたる「平成26年度活動計画報告」で第1番目に「会員名簿の発行」を掲げ、個人情報保護の取扱いに十分注力しつつ2015年版を発行し、同窓会としての責任を果たすとともに、広告収入と名簿販売による財政強化の継続を決定したことを報告。発行にあつては幹事・評議員一体となつての協力を求めた。承認された。

名簿発行実行委員長に木村栄次副会長が指名され、同委員長の「全体管理グループ(G)」のもとに編集G(担当：丸山幸夫・IT部会長・広告G(担当：越智克司副会長)・販売G(担当：中島守副会長)が編成された。

予定では今年秋に「調査カード」を全会員に発送して情報の正確を図るが、照会項目・掲載項目の取扱いはさらに検討を行なう。

木村実行委員長は個人情報取扱いをより慎重にすることを重ねて強調した。名簿収支のカギを握る「広告」について企業広告の新規拡大のほか、同期会クラス会・クラブOB会・同好会・同業団体・卒業生単位などあらゆる組織団体からの広告協賛を訴えた。

発行に際して編集Gの場合、名簿内容の正確性、読み物資料の充実が求められる。総ページ数と印刷コスト軽減が重要になるほか、各Gともに広告・販売の新規開拓が焦点となる。この日出席の全幹事・評議員は担当グループごとに座席を指定され各担当分野が決まった。

「会員名簿」は1949年発行190ページ小型版が第1号。豊陵会の発展と共に4年に1度オリンピックの年に発行されていたが、2008年版を最後に「個人情報の検討」「広告収入見直し」の点で発行の是非が検討されてきた。永田会長は「個人情報と名簿発行の関係」「他校の動き」などの検討を進め、それらをクリアできるものとして昨年11月の評議員会で名簿発行の継続を表明し、詳細を今年2月の評議員会で発表するとしていた。今回の発行は改訂13版にあたる。

執行部の留任も承認

平成25年度第1回幹事会・評議員会
2013年10月18日

於：ホテルアイボリー

永田会長の開会挨拶のあと、下川校長から母校の近況報告があった。PTA対象の若者とインターネットSNSの光と影・講演がTV取材など注目された。9月文化祭に今年も2日間約5400人の来賓者があつた。3平成27年からとされる英語教育でのTOEFL対応のコース新設を計り、さらに全国100校認定予定のスーパーエリート養成「スーパーグローバルハイスクール」の認定に名乗りをあげ、教職員・生徒一丸となり取り組む、など100周年に向け、輝きを増す話題を報告された。

審議事項では新任評議員の紹介があり承認された。また12月末で任期満了となる現役員執行部について全留任第2期目を務めることが報告され承認された。

幹事・評議員会議の報告 「会員名簿」の発行を決定

説明があつた。名簿発行の環境が変化し、名簿情報の扱いが難しく、特に若い会員からの情報提供が少なくなつたため、2008年11月版発行以後は継続発行への体制が整っていないことを念頭に役員会で検討を重ねた。

議論する中で①同窓会の役割として「名簿」は会員に対する必須のサービス、運営の根本を明確にする責任があり、②広告・販売収入が同窓会運営のための基金の一助となり、③他の有力校で名簿発行を中止したところが全くないというところから発行する判断に至つた。

については制作費を下げ、広告収入を上げ、広範多数の協力を得つつ、慎重かつ誠実な発行を行なうと決定した。これを受けて木村副会長から発行に関わる協力体制の具体的な内容を次回例会で報告すると協力要請を行なうた。

このほか2014年度総会の企画、ゴルフ大会の予告と会報・IT・資料の各部会から状況報告があつた。

2月19日平成26年度第一回幹事会・評議員会には80人が出席し、赤塚財務幹事が説明の「平成25年度活動報告・決算案」「同26年度活動計画・予算案」を承認するとともに永田会長から推薦紹介の新任評議員8人を拍手で承認、迎えた。

越智副会長の進行で始まった会議はまず下川校長が母校の近況報告。前期入試を翌日に控え、前期入試の志願者倍率が進学指定校10校中で最高になつた(3・38倍)こと、文理科新設後の卒業生には報道各社の指定取材校になつたこと、2月6日開催の「豊陵プレゼンテーション」行事など生徒が自主的な活動を展開していることを紹介した。

議事終了後の報告事項の中で、永田会長は任期2期目となる第一回の幹事会・評議員会として、役員・幹事・評議員一体となつて以後の2年間の協力を要請した。平成26年度活動計画報告として次の3点を発表した。

①「会員名簿」の2015年秋発行、発行体制の始動・活動促進を宣言し、役員・幹事会・評議員会・会員有志一丸となる協力を要請(別項記事)する。
②母校の応援、在校生と卒業生の交流増進③「文化祭・体育祭・卒業式な

決算・予算の承認と「3つの活動方針」

ど、卒業生の学校行事への参加「総会」の催しへの在校生クラブ活動などの披露(第2弾)として2014年総会ではダンス部の出演「卒業生による就職指導の継続」「文理科設置に伴い大学進学状況の変化に応じ、母校OB大生による進学案内・大学紹介などの検討を進める。

③会報の年1回発行にとともに活動基盤となる協力金が減少しているが、幸い昨年来、同期会開催の余剰金や個人の大口の寄付があつて財政健全化への大きな寄与があつた。特に高12期有志が開催の森本敏さん同12期講演会には本会支援のために開催されたことを紹介したうえで、全会員からの協力金参加を強く呼びかけた。

つづいて今年13回目となるゴルフコンペの予告があり、部会報告では会報部会「記事・広告・編集人材の協力依頼」「IT部会」「豊陵会デジタルアーカイブ」の完成と活用説明、資料室「1年生対象に現代社会授業の一環として「母校の歴史」を行なったが長期的には系統的に学校のカリキュラムに組み込み、担当教諭による授業を希望したい」との報告が行われた。

2013年総会 豊中高校吹奏楽部「とよすい」の演奏

会場、豊高一色の一休感で盛会

出席者233名の今総会、永田会長は、①豊陵会行事への関心、興味促進の声かけで、参加して初めて理解しつながら喜びを伝え、②会員の温かい協力金が将来の母校・豊陵会を成長、発展に導くといふ説、③母校創立100周年に鑑み、個人情報保護法などの制約にも屈せず、開かれた豊陵会活動を掲げた名簿作りを進めたい意向を示し、母校・同窓会への協力による、明るい未来への道筋を開くことを大いに期待する挨拶をされた。またご来賓の下川校長先生は、全世界に通用する人材の育成、かつ科学的な



知見で世界に羽ばたいてほしいとの生徒への思いを述べられ、勉学・志学に尽くし、しなやかで、粘り強く、失敗をも経験としてへたれない力を養い、①温かく見守っていただけこの豊中地域とつながって支え合える環境を学校もつくり、②様々な現実の事象に対する、それは何なのか、なぜそうなるのか、そして何に役立つのかを解明する力を育み、③その自らの解明への努力、過程、そして成果を、相手に伝える、周囲に分かち合つて人類の財産とするような表現力をつけるよう豊中高校の生徒として、立派な卒業生先輩諸氏を見習って羽ばたいてほしいとご祝辞を頂戴した。乾杯ではホームカミング(約60名総会出席)高40後藤さんが、諸先輩方のすばらしい豊陵会への尽力に負けないよう、盛り上げて参りたいと懇親会が始まった。宴たけなわ、下川校長先生公認、中間試験前にもかかわらず、駆けつけてくれた、吹奏楽部「とよすい」の演奏は「100%勇氣」で開始。後輩たちが奏でる日本管楽合奏コンテスト全国大会優秀賞受賞の渾身の演奏に卒業生も感激とともに魅了され、演出かつ視覚的すばらしい活躍に、熱い喜びを禁じ得ず拍手とともに、アンコールの声、「とよすい」生演奏による校歌斉唱に感極まり、永年の豊中高校が一体となった総会の締めくくりとなり、越智副会長もすばらしき出合いの時間を惜しみながらのお開きを宣言された。

本年は豊中高校ダンス部を迎えます
今年の豊陵会総会は5月25日(日)です

会場は昨年同様、阪急豊中駅前・ホテルアイボリーで11時より開催いたします。今年のゲストは、昨年に引き続き在校生シリーズ第二弾、母校豊中高校のダンス部のみなさんです。昨年、創部、2年ぶり2度目のダンス選手権全国大会出場を果たしました。現在50名の大方々に喜んでもらえるよう精一杯活動しております。比較的新鮮な分野の上演をぜひお楽しみ下さい。総会当日のイベントの中でも恒例の「寄贈品のオークション・即売会も開催いたします。年々盛り上がりつつ参りました本イベントに会員の皆様のご協力をお待ちしております。また今年の「ホームカミング25」の該当期は高校41期の皆さんです。総会の詳しい内容は24頁(裏表紙)の「豊陵会総会のご案内」をご覧ください。

青春時代に戻れる楽しさ

ホームカミング25

ホームカミング25に予想以上の先生、同期の方々に遠方からも多数参加があり、大変盛り上がり終始楽しく過ごすごことが出来、限られた時間でしたが近況と、皆様がんばっているのを聞くのはとても励みになりステキな時間でした。人生の折り返しを過ぎ、会えば青春時代の青臭い頃の気持ちにすぐ戻れるのが一番良いところで、もと早くから準備をしていたればより多くの方に参加してもらえたかもと悔やまれます。総会は今度の豊高を知る良い機会、先輩の方々も沢山出席されますので、交流できる催しもあればよかったです。また日曜ではなく土曜開催なら総会にも参加でき、もう少しゆとり出来たのという意見もありました。常日頃から同期と連絡を怠らず名簿の管理をすることが今後の私たちの課題だと思えます。高41幹事さんの昨夏からの声かけは盛大なホームカミングの予感。頑張ってください。(高40 後藤・岡本・斎藤・櫻井)

第13回豊陵会親睦ゴルフコンペ

開催日時 平成26年10月2日(木) 8時28分スタート
開催場所 関西クラシックゴルフ倶楽部
(☎0794-72-1231。〒673-1123 三木市吉川町湯谷567)
スタート方式 大洞・湯谷・清水の3コース1番ホールから同時スタート。
組合せ お申し込み時のご希望に出来るだけ治うように決定します。同期会での参加も大歓迎です。
費用 キャディ付=約13,600円。
上記にはプレー費、昼食、会食(ソフトドリンク付き)含む
会費 3,000円(賞品代・諸費に充当)

■ 昨年の第12回コンペ ■

男子優勝は高15木村榮次さん、女子優勝は高17青山晴美さん、ベスグロは高22中島 守さん



10月3日(木) 関西クラシックゴルフクラブで開催。「一二三会(ひふみかい)」(高1・中23の同期会)から3組12名の参加を得て、男子64名、女子8名、総勢72名。賞品は丹波枝豆などを用意し、好評でした。



69期生の合格発表 高い豊高人気 文理科で府立高トップレベルの狭き門

4年目になった前期、文理科入試の合格発表が雨模様の中2月27日午後2時から母校正面玄関であった。160人(男81女79)が合格。今回は志願者が557人競争倍率は、3.48倍で10校中トップだった。後期普通科の発表は3月19日に行われ、志願者359人、倍率1.79倍のなか合格者200人(男95女105)が発表された。

豊陵資料室から学ぶ昭和史の一端

平成25年12月に、資料室にて浅井由彦さん(高2)による一年生を対象とした「現代社会」の授業が行われた。授業内容は本校を中心とした郷土史・学校史・昭和史で、視点を自らの学舎とした講義に楽しかったという生徒の感想もある。授業の発案者は石田省三先生(高27)。



「現代社会」は、1979年に我が国の国際社会の一員としての役割の増大、複雑化、多様化するこの社会の実態を地理、歴史、政治・経済といった従来からの科目の成果をふまえて、総合的に観察し、その問題点を検討する目的で設けられた科目である。



春の訪れを感じる晴れたよき日に355名の卒業生が入場、第66回卒業証書授与式が挙行された。この人達は東日本大震災のあった直後に入学し充実した3年間を豊中高校で過ごした。式にはテレビカメラ4台と報道関係者が来ていた。今年は、当校を含め府立高校10校が進学指定校に指定されている初めての卒業式で、理科・文科・普通科それぞれの代表者が卒業証書を受け取った。

66期生355名が卒業 2月28日卒業証書授与式

メキシコでのロバカップ世界大会やシंगाポール国際科学チャレンジで優秀賞受賞などグローバルな時代を我々も感じた。グローバル時代になり、情報・通信技術の発達から国境を越えていく自由ができたが、大きな視点で取組む必要がある。東日本大震災では日本人の助け合いと冷静な行動は世界から賞賛された。すべて国際的見地から自分以外の世界に心を抱き、世界の人々を思いやり、若いうちにさまざまな文化の違いを理解し、日本の文化歴史を学んで欲しい」と述べられた。

永田豊陵会会長は、同じ山田耕作氏作の「かがやけ風と光」を歌った同窓生として、友を大切に66期生の同期のつながりを大切に。卒業後の生活をより豊かにするお手伝いを豊陵会はしたいので、5月のホテルアイボリーの総会で旧友と出会ったり、会報やインターネット、会員名簿などを利用していただき、これからの人生を進んでいけるのを豊陵会は応援します、と祝辞を述べた。



■高2浅井由彦さん 文化の日の大阪府教育委員会「教育功労者表彰」で「学校教育活動協力者」として表彰された。豊陵資料室の運営を中心に母校と豊陵会とをつなぐ活動、毎年の在校生への「学校史講話」などが評価された。

■高5櫻井道義さん 2013年4月、財団法人日本病院管理教育協会理事長に就任。

■高8新宮晋さん 10月26日～11月30日、大阪中央区のギャラリーで「小さな宇宙・新宮晋展」を開催。11月3日にはドイツ監督が製作した「呼吸する地球・新宮晋の夢」が上映された／また三田市・県立有馬富士公園休養ゾーンに「里山風車」を寄贈／これまでの作品の設計図やデッサンを掲載した「ほくの頭の中」を出版した。

■高8本田伊佐子さん 保護司としての活動で藍綬褒章を受けた。11月3日に大阪府下で褒章を受けた人は43人。

■高8米山宏さん 元・阿南工業高等専門学校長。教育研究功労で11月3日秋の叙勲で「瑞宝中綬章」を受けた。

■高11中野寛成さん 2013年春の叙勲で「旭日大綬章」を受けた祝賀パーティ(発起人代表・浅利豊中市長)が10月2日大阪市内のホテルで開催された。発起人の1人・森本敏さんが祝辞で豊高時代のエピソードを披露した。中野さんは「ガンジーの予見から読み解く・みんなで考える日本」を出版、当日お披露目した。

■高12竹川忠徳さん(「NPO法人リタイアメント情報センター」理事長)、高12阿賀敏雄さん(同理事・関西支部長) 1月23日ホテル・アイボリーで高12森本敏さん(前防衛大臣)を講師に招いて「東アジア情勢と日本の政治・外交」との講演会を開催。会場はぎっしりの満員。収益金37万余円が豊陵会に寄付された。昨年の豊陵会総会で永田会長から豊陵会財政難を聞いた

のが企画の発端という。

■高13北 修爾さん 11月3日秋の叙勲で「旭日中綬章」を受けた。北さんは現・阪和興業株式会社社長。2006年から11年まで3期6年間、豊陵会会長を務められた。

■高17松下侃立(やすはる)さん 11月23日～30日、豊中・稻荷神社前のアートギャラリー「ヒルズワン」で「ナニコレ?珍百顔・有名な似顔絵展」を開催。30年前週刊誌に投稿以来、腕をみがいてきた作品を「楽しい突っ込みコメント」つきで公開した。

■高20藤村 修さん 野田内閣の官房長官。10月2日に政界からの引退を表明。「あしなが育英会副理事長」に専念。東京江東区に転居。

■高21三井正則さん 2013年6月ダイハツ工業株式会社・代表取締役社長に就任。

■高25高橋興三さん 2013年6月シャープ株式会社・代表取締役社長に就任。

■高29加藤芳哉さん 阪急宝塚線・服部駅が12月21日から「服部天神駅」と改称された。元豊陵会副会長で服部天神宮司の加藤さんは「何か困ったことがあった時に、身近な心のよりどころとなれるような神社にしたい」と抱負を語った。

■高42幸田浩子さん オペラ歌手。1月3日19時から生中継の第57回NHK「ニューイヤー・オペラコンサート」に出演。ドリープ・歌劇「ラクメ」から「花の二重唱」、ヨハンシュトラウス「こうもり」から「公爵様、あなたのようなお方は」の2曲を独唱。

■高53宮崎貴子さん ピアニスト。2013年9月、ドイツのドルトムントにて4年に1回開催されている、シューベルト国際リートデュオコンクールにて優勝。



豊陵会 2013年の決算・2014年の予算

豊陵会は本会会員で守り育てる

平成24年、25年を顧みてみますと、24年度は収入の部に於きまして協力金が予算比147万円の過達、その他で19万円と160万円の増収に加え、諸経費の圧縮で次期繰り越し金が予算31万円に対し275万円となり、244万円の繰り越し金の増加がありました。

25年度は、協力金が予算473万円に対し91万円増の564万円、一般会費及び寄付金が予算330万円に対し64万円増の394万円となり、合計しますと予算803万円に対し実績958万円と、155万円の増収となりました。一方支出に於きまして、事務局、各部会等の経費削減努力が功を奏し、繰越金も予算150万円に對しまして、295万円の大増の過達が出来次年度(26年度)へ445万円の繰り越しができました。

これもひとえに、会員各位のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

26年度予算は、収入に關しましては前年予算比+187万円ですが前年度とほぼ同額の収入予算であります、前期繰越収支差額に支えられていますのも事実であります。

前々年度(24年度)実績同様の協力金、寄付金をお願い出来ますと、100万円の収入増が見込めます。支出は24年度、25年度に引き続き経費の圧縮に努めますが、次期会員名簿の発行準備に入りますので、前々年、前年実績より多少の支出増となっています。

以上、過年度の収支を顧みまして、25年度の決算報告並びに26年度の予算のご報告をさせて頂きますが、豊陵会の活動は会員皆様方のご理解とご協力が唯一の生命線であります。

「開かれた豊陵会」「参加する豊陵会」の会長のスローガンの下、「豊陵会は豊陵会会員で守り育てる」と、今一度会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。
(副会長 中島 守)

一般会計 収支予算案 (自 平成 26 年 1 月 1 日 至 平成 26 年 12 月 31 日) 単位：円

収入の部	予算	支出の部	予算
前期繰越収支差額	4,000,000	豊陵会報発行費	3,500,000
豊陵会協力金	4,885,000	総会開催費	1,150,000
一般会費収入	3,200,000	学校行事支援金	530,000
寄付金	500,000	卒業記念品贈呈費	268,000
会報広告収入	500,000	豊陵会報部会	150,000
総会出席会費収入	1,000,000	豊陵資料室部会	110,000
総会時販売等収入	250,000	IT推進部会	100,000
利息収入	3,500	東京支部補助金	150,000
雑収入	15,000	中部支部補助金	100,000
		事務局費	2,600,000
		諸会議費	1,500,000
		事務機器使用料	500,000
		事務用品備品購入代	700,000
		事務局光熱費	110,000
		電信電話料	140,000
		通信費	200,000
		交通費	50,000
		慶弔費	40,000
		協力金等払込手数料	135,000
		協力金引落手数料	11,000
		振込手数料	25,000
		雑費	25,000
		名簿特別会計繰入	500,000
		予備費	1,759,500
計	14,353,500	計	14,353,500

一般会計 収支計算書 (自 平成 25 年 1 月 1 日 至 平成 25 年 12 月 31 日)

単位：円

収入の部	決算	予算	支出の部	決算	予算
前期繰越収支差額	2,751,027	2,500,000	豊陵会報発行費	3,235,113	3,500,000
豊陵会協力金	5,638,000	4,735,000	総会開催費	948,920	1,100,000
一般会費収入	3,222,261	2,800,000	学校行事支援金	530,000	530,000
寄付金	721,981	500,000	卒業記念品贈呈費	255,610	242,000
会報広告収入	549,500	620,000	豊陵会報部会	91,948	150,000
総会出席会費収入	1,068,000	1,000,000	豊陵資料室	161,000	200,000
総会時販売等収入	264,350	300,000	IT推進部会	97,676	100,000
利息収入	3,680	5,000	東京支部補助金	150,000	150,000
雑収入	40,477	20,000	中部支部補助金	100,000	100,000
			事務局費	2,121,485	2,450,000
			諸会議費	973,539	1,000,000
			事務機器使用料	429,110	480,000
			事務用品備品購入代	219,069	350,000
			事務局光熱費	86,071	100,000
			電信電話料	109,077	140,000
			通信費	120,290	150,000
			交通費	40,860	50,000
			慶弔費	0	40,000
			協力金等払込手数料	124,380	132,000
			協力金引落手数料	10,086	6,050
			振込手数料	1,155	25,000
			雑費	5,043	25,000
			次期繰越収支差額	4,448,844	1,459,950
			(うち、当期収支差額)	(1,697,817)	
計	14,259,276	12,480,000	計	14,259,276	12,480,000

貸借対照表 (平成 25 年 12 月 31 日現在)

単位：円

資産の部		負債及び正味財産の部	
現金	90,814	負債の部	
郵便振替	4,961,780	小計	0
普通預金	2,294,080	正味財産の部	
定期預金	12,022,812	運営準備金	3,000,000
仮払金	100,376	積立金	12,021,018
		前期繰越収支差額	2,751,027
		当期収支差額	1,697,817
		小計	19,469,862
合計	19,469,862	合計	19,469,862

記念事業特別会計では、受取利息 2,462 円が発生し資産額は 15,488,814 円となりました。

“豊陵会 IT 環境”の更なる進歩

1 5～6年先を見据えた“豊陵会IT環境”へのソフトランディング!!



5～6年先のITの環境は window 7 or 8 になります、したがって、豊陵会事務局関連ITも更新致します。(現行の環境は window XP がベース)

2 豊陵会デジタル・アーカイブス (フェーズ2)への発展!!



“豊陵会デジタル・アーカイブス (フェーズ1)”としての環境整備は終了致しました(資料室に現存する資料の内、豊陵会報創刊号～第94号、紙焼き写真ファイル3000件)。さらに、豊陵会資料室にある有益な情報を豊陵会デジタル・アーカイブスに追加し、充実を図ります。

3 豊陵会会員各位への IT 技術の伝播



豊陵会会員各位が、発展・進歩し続けるにITをこの機に勉強し、身につけてもらえるコースを設けます。

松深 憲雄 村岡 直泰 守口 建治 安本 潔 數田 英俊 山崎 一夫 イゼリ(藤原和代 新上(酒井)賢美 奥村(吉田)和子 【高21期】 岡崎 邦夫 小島 隆明 平田(澤田)明男 柴山 公一 島原 則雄 下條 信次 多田 克己 西村 隆 福島 裕 三浦 清秀 水野 正博 加藤(伊藤)マリ 平田(小林)喜美子 佐藤 春美 中野(澤野)美穂子 橋木(篠田)啓子 山際(鳥飼)広子 伊庭(鍋野)文江 池林(湯川)悦子 【高22期】 榎原 德行 小川 寛 鎌田 史朗 岸田 明義 小林 伸行 阪本 保一 徳田 俊 中島 守 成田 幸郎	萩原 哲 久岡 英樹 木久 茂生 水上 守 村岡 隆 山尾美佐雄 井筒起美子 漁田(木村)俊子 小倉(羽田)照代 上野(橋本)千佳子 金澤(別府)まほみ 他 1名 【高23期】 五十嵐康雄 家倉 泉 北川 知行 澤村 昭彦 柴田 尚 竹原 晃 丹羽 寛 道畑 時信 島田(植田)麻子 安部(羽田)宝根 太田(村上)妙子 【高24期】 木村 雅紀 後藤 鐵郎 高野 勇人 富永 恭爾 西殿 芳人 西村 新 藤井 昌之 舟本 仁一 芳本誠一郎 奥野(上田)洋子 田井(鏡)京子 伊藤(都地)由紀子 梅本(長村)圭子 吉田(日本)知子	船城 洋子 鈴木(森口)多恵子 【高25期】 小笠原慶彰 大田 幸三 斉藤 信弘 殿広 利之 中山 正登 中川(小畑)弘美 津田(岡田)純子 辻(岡田)賀代子 梅咲(古田)敦子 八木(三田)圭子 【高26期】 池辺 健 佐藤 雅之 谷 真明 長谷川淳一 林 和彦 村田 洋一 山上 祐一 吉田 禎之 中島(小瀬戸)淳子 滝尾真喜子 横井(善方)菓子 日隈 良江 芝(平嶋)好美 池辺(堀部)恭子 橋本(山田)洋子 高畑(山林)久美子 【高27期】 井上 修 飯島 晋 大飼 隆夫 岡山 精一 亀井 伸也 刈田 泰之 小島 啓二 佐藤 尚文	志賀 真一 寺田 雅史 中村佐知大 長澤 伸之 灘本 昌久 横田 均 横田 聡 石田(浅野)枝里子 長岡(久江)佐江子 園田(佐賀原)卓恵 桑原(中井)紀子 橋本(松林)かほる 赤井(村田)薫 【高28期】 上山 信一 小寺 泰弘 後藤 研了 篠原 卓志 砂原 由和 武内 武 野中 義博 平松 正嗣 八島 一郎 池田美智子 【高29期】 鶴岡 孝造 梅沢 亮 榎原 博之 大倉 由嗣 大西 一宏 加藤 芳哉 金井 淳 楠田 透 杉山 雅男 高橋 豊彦 滝口 剛 中西 哲也 成田淳一郎 西村 忠浩	服部 敏幸 広畑 誠 松嵩 徹 吉矢 和彦 山村(青木)早苗 畠田(生駒)恵里子 藤田(小原)美子 今城(休田)みどり 小寺(佐藤)淑子 久保(月かおり) 佳多里 高木(西川)晃代 友金(浜頭)利枝 後藤(藤本)陽子 吉田(堀松)直子 【高30期】 五十川和洋 今木 誠 小西 敏明 香西 孝純 白石 芳明 高野 和則 谷田 眞一 寺西 信彦 中内 龍治 中園 幸男 中田 裕省 田中 信治 福田 行俊 宮階 定憲 山田 和人 山本 直 浅川 直子 石田 素子 神田(板脇)環 中井(呉谷)英美 高奈(常田)美香 高木(西美)由紀 小山(松尾)真弓	武蔵 扶美 山脇 慶子 【高31期】 井上 正一 伊勢本真裕 高橋 光邦 玉城 祥啓 堤 俊一 富野 一郎 長田 憲一 橋本 勝巳 山出 祐司 常行(池川)まゆみ 片山(岡田)千加子 安岡(片野)由美 眞鳥(前田)理恵 池田 智子 苗田(横道)裕美子 【高32期】 石黒 秀和 稲津 高大 北野 吉幸 北原 千春 小寺 祥文 佐々木英郎 毛利 正朗 柳橋 邦生 吉田 修 巽(井崎)友子 池口 敦子 石黒(大西)恵子 勝田(鹿島)満恵 小田(小林)和希子 伊藤(阪口)基子 酒井(酒井)祐子 九門(中谷)基 菅(野口)祐子 関(平本)和子 政木 真理	中西道下知佐子 古高(西川)綾子 江連(渡邊)柳子 【高33期】 片岸佐登志 谷口 顕彦 丹波 覚 甫立 浩三 宮地 禎幸 今口(甚内)真奈美 芳賀由貴子 上辺(体田)浩子 合田(和田)万美子 【高34期】 伊藤 浩平 若崎 隆司 近藤 文樹 中村 洋 奥田 ゆき 杉林(栗山)智子 小林(由香里) 柚香里 【高35期】 麻植 和男 吉良 哲司 高浦 慎治 藤沢 竜志 武藤 雅彦 山本 篤志 大倉(安部)正志 得津(石川)圭子 内野 恵美 関 純子 比留田(田中)貴子 加太(森本)恭子 山本 朝子 【高36期】 浅山 泰之 岡 士也	黒岩 督 齋藤 明彦 住田 光 富田 和人 中井 覚 早田 寿夫 山根 淳一 増山(岡崎)あづさ 櫻庭(小林)三千代 瀧下(坂東)靖子 佐藤(古谷)徳子 梅本(畑見)有香 古川(森)智香子 【高37期】 安東 優 木田 聡 栗尾 拓滋 合田 陽一 高橋 修 中川 智弘 南里 吉彦 船渡 重行 前川 明弘 前川 達治 守本 正宏 谷村(小田)真紀 佐藤(梶田)和江 北原 美穂 木田(栗原)美幸 黒田 愛 武藤(佐々木) 亜佐子 岡(塩川)有紀 奥野(大丸)祐子 若崎(棚橋)一恵 遠藤(長岡)加壽子 亀井(古川)圭子 上野(牧野)直美	【高38期】 笹森 孝道 日永 武彦 石原 眞里 金野(皆井)千香 森(大澤)宏子 柏原 恭子 小西 暢子 宇津呂(柴田)三紀 前田(藤原)睦子 日永(藤原)佳子 久保(森)由美子 【高39期】 金原 康人 熊代 直生 豊田 裕司 鳥海 亜哉 中田 博紀 美藤 直人 三木(大内)かおり 稲葉(斎藤)美保 古澤(吹田)旬 宇野(藤田)ゆかり 山本 知世 【高40期】 尾崎 健 倉内 文孝 諏訪 寛幸 柳田 学 柏原(小松)美子 中川(鴻巣)洋子 坪井ひろ子 大茂(中倉)明子 三村(橋本)明子 藤原(平田)明子 鹿井(波々)伯部 玲子 守山 享子 森(山田)睦美	【高41期】 田中 賢一 古河 聡 津島(井上)依子 松平(加藤)恭子 浅田(品川)京子 岡本 正宏 柏木 英雄 工藤 恭子 小林 知博 【高43期】 田中 康平 武藤 順一 織田(織田)順子 小林(北浦)靖子 【高44期】 池本 裕行 梶浦 聡 島崎 洋造 大橋(斎藤)みゆき 石井(田口)菜緒 他 1名 【高45期】 北之坊晋次 飛松 聡 岸本 理恵 下村(佐古)満美子 早田(高野)敦子 宮脇 昌美 【高46期】 岡本 薫 河野浩資朗 土井(芝)知志 松本 耕一 【高47期】 東 和正 山田 亨 山本圭一郎	【高48期】 中村(橋本)慶太 貝戸(井上)敏子 富岡(川本)薫 【高52期】 木下 正崇 西川 良太 吉野 康佑 山本千津子 【高53期】 川舟 史晃 東原(奥)里子 【高55期】 須藤 涉一 出立 辰典 山本 淳一 【高56期】 荒川 正大 太農 哲朗 【高57期】 坊中 浩平 【高58期】 西本 武史 【高59期】 宇佐美達朗 金川 昌和 【高60期】 谷 勇也 田辺 麻純 山本 エリ 【高61期】 加藤 大志 中田 早紀 【高62期】 小田 明寛 黒谷 光宏 西本 昌史 樋口 健	【高63期】 井路側晃輔 岩井 龍太 丸尾 真司 【高64期】 井上 優大 多井 真一 山浦 孝一 山下 祥平 片桐 穂乃 村岡 千晃 【高65期】 井辺 智也 加藤 雅崇 三國 裕生 岩田 爽風 中川 真佑 西本 有里 樋口 桃 丸茂奈都子 山佳 眞子
--	--	---	---	--	---	--	---	--	--	---	---

■豊陵会総会(ホームカミング)・同期会(2次会)に出席
いただいた高40期の皆様より協力をいただきました

荒牧 草平 石田 直人 一見 康雄 岩本 卓治 日井 剛 圓谷 亮太 大杉 高志 大野 秀基 岡本 高明 奥田 英樹 片岡 秀之 川合 武士 木嶋 敬昌 倉内 文孝 黒田 育央	後藤 淳 齊藤 雅彦 酒井 昭雄 島田 雅也 下河内久倫 図師 崇人 瀬口 慶一 妹尾 高史 田中 英昭 依 宏行 土屋 毅雄 角森 博史 時枝 良夫 富田 佳久 中山 泰	新宮 一樹 西垣 欣三 野原 敏正 橋本 和也 花田 和俊 逸見 拓生 前田 宗宏 益野 研治 宮武 将之 森 一朗 森島 直哉 安川 亨 山中 重雄 山本 真彦 湯浅 俊郎	古島(浅井)加代 浅野 知津 中門(伊藤)直子 山本(射場)智子 森島(生田)透子 川崎(池田)恵子 梅田(石垣)敦子 田戸(石崎)麻子 上田(石田)直子 武田(川西)志保 岡田(茅)博美 降幡(岩澤)富美子 宇佐美順子 岡本(上野)直美 菅谷(梅本)裕子
--	--	---	--

宮武(小川)晶子 中司(大塚)裕子 荒谷(大矢)真子 逢坂 悦子 天勾(岡本)治子 西阪(岡本)直枝 木村(宮窪)美誉子 錦野(海堀)麻子 伊崎(柳)実樹子 和田(梶)孝子 松満(金子)澄子 岡原(甲斐)寛子 武田(川西)志保 岡田(茅)博美 古堅(北野)佐代子 河野(倉知)典代 横井(小嶋)さとこ 日村(後藤)裕子	辻(肥塚)直子 財満 千晶 光井(坂野)由紀 指尾 宏子 柴田(柴田)千明 山川(廣田)万里子 西澤(新家)朋子 古茂田(高杉)陽子 石黒(高橋)さおり 河上(高橋)三枝 井上(高橋)由美子 伊藤(高倉)奈津子 大内(竹林)靖子 中井(橋)裕子 渡辺(橋本)亜紀子 東元(谷)美枝 村越(千葉)亜矢 坪井ひろ子	東稔 典子 時坂(中井)真由美 花田(中田)恵里 辻(中野)みゆき 樹谷(仲川)礼子 七元(新居)良子 尾田(西井)貴子 林(西澤)恵美 稲本(西田)容子 有友(西田)帆里 野上 祥代 北原(野動)真紀 中村(波田)美紀 石田(辰谷)知子 東口(林)有紀子 岩尾(藤井)淳子 藤田 尚子 古川(丸田)朱美	吉田(本井)美子 大前(森田)久美 森脇 典子 木野(山川)詠子 三木(山路)千春 葉山(山崎)元美 間柴(山中)祐子 柴田(山本)登子 湯浅 央子 岡島(田中)亜紀子 奥田(古川)久子 境(吉岡)薫 大岡(和岡)知子 中井(渡邊)佳子 以上128人 合計 246,000円
--	--	---	---

■寄付をいただきました ☆高 3期豊三会 3万1890円 ☆高19期同期会 8万1679円 ☆高30期学年会 11万6千円 ☆高35期同期会 1万円 ☆高40期同期会 7万1167円 ☆高57期同窓会 5万6千円 ☆NPO法人リタイアメント情報センター 理事長 竹川忠徳・理事 阿賀敏雄(高12期) 37万6875円 ☆幹事・評議員会ドネーション (H25年 2月19日分) 8万5千円 (H25年10月18日分) 7万5千円 ☆役員懇親会ドネーション (H25年 1月25日分) 1万4千円 ■豊陵資料室に ☆高44期 石井(田口)菜緒 3千円

■以下の皆様より平成25年12月9日付で 自動振替納入制度(かつ・かいしゅう)より 協力をいただきました	【中20回】 佐藤 雄直 【高3期】 鈴木不二男 妹尾 景行 【高5期】 友国 泰治 【高6期】 上神英二郎 八幡 弘道 阿曾 幸子	山笠(百武)ゆみ子 岸谷(村井)由紀子 【高7期】 中村 允人 牧野 寿 松田 郭 望月 靖允 立川(川崎)宏子 【高8期】 後藤 章雄 石田(村中)美代子	【高10期】 上村 彰洋 【高12期】 有田(林崎)進 谷垣由美子 【高13期】 北 修爾 佐瀬 一男 菅谷(／寿男)梓 松本 洋 小出 君子	【高15期】 越智 克司 鈴木 莞爾 【高17期】 伊東 成芳 【高18期】 南晴 良之 転法輪(神奈)真理 【高19期】 山西 洋一
--	--	--	---	---

【高21期】 梅名 義昭 小島(岡崎)公助 小西 庸一 笹川 公徳 鈴木政太郎 田村 守 中村 積方 細見 孝治 松本 俊二 三井 正則 盛口 正昭 吉田 孝 若田 邦男 清水(酒井)恵美子 轟取(藤田)みどり	吉田 優子 【高22期】 赤塚 茂一 上原 雄一 中島 守 【高26期】 塩崎 兼市 【高28期】 明里 一孝 【高29期】 加藤 芳哉 野村 俊哉 【高33期】 野田 浩司 【高39期】 豊田 裕司
---	--

■総会に寄付金・寄贈品をご提供いただいた皆さん	【旧職員】 塩飽 忠一 【中18回】 小西 清海 【中20回】 佐藤 雄直 【中22回】 田中 昂 【中23回】 芳賀 洋 【高3期】 妹尾 景行 【高5期】 友国 泰治	【高6期】 上神英二郎 小西 淳次 小口 良喜 山笠(百武)ゆみ子 【高7期】 草井 由博 中井 梅雄 望月 靖允 【高8期】 東(太田)敦子 神保 雅明 石田(村中)美代子	【高9期】 大久保 孝 堀田 芳男 中村(伊奈)好子 茂木(上島)喜久子 井上(金澤)三智子 野々井(田口)勝子 【高10期】 上田 暉夫 金井 邦夫 長谷川(富田)能民 久保(岡田)文子 【高11期】 中野 寛成	【高13期】 菅谷(／寿男)梓 玉村 憲雄 中尾 寛次 西井 昭 高岡(伊敷)浩子 岩武 萬子 松本 欣子 【高15期】 越智 克司 木村 榮次 滝川 勲夫 中村 信 永田 武全	村瀬 一郎 山本(黒山)美由紀 木村(城)雅子 宗田(広嶋)京子 【高16期】 須賀 寛充 【高17期】 大坪 武彦 田中 伸忠 【高19期】 山西 洋一 【高21期】 加堂 裕規 【高22期】 赤塚 雄一 中島 守	【高24期】 吉田(日本)知子 【高25期】 小西(増田)孝子 【高28期】 松井 豊 【高29期】 加藤 芳哉 【高31期】 竹村(中井)基子 【高32期】 石岡千佳子 江連(渡邊)都子 【高36期】 古川(森)智香子 【高37期】 南里 吉彦
---	---	---	---	---	--	---

■協力金をいただきました

お名前を掲載し、お礼申し上げます

(平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日までに
ご協力いただいた方を会員番号順に記載いたしました)

【旧職員】

藤田(相川)礼子
今安 達也
齊藤 悦子
塩飽 忠一
瀬川 秀雄
多々 浩爾
内藤 泰宏
長岡 洋安
秀島 保雄
藤上 幸作
増賀 久義
弓庭喜和子
四之宮(齋藤)博
高橋 節子
海田 克夫
【中7回】
中川 宗治
【中9回】
田町 亘
【中11回】
麻生 一郎
谷 雅夫
【中13回】
大久保博照
【中14回】
佐々木一郎
【中15回】
須々木敏郎
竹沢 荘一
西岡 孝
藤井 潔
【中16回】
石井 敏雄
木村 恒雄
後藤 正慶
齊藤 禎敏
吉本 晴彦
【中17回】
赤城 蕃
高橋賢太郎
堤 栄次郎
福田 利和
廣瀬 精一
松田 富治
山本勘一郎
横尾 英二
【中18回】
石井 勉
大久保 博
奥田 福三
木谷 繁夫
楠原 政男
中野 衛
姫野(澤丸)伸
三浦 稔
森下 一郎
矢島 治明
遊川 益次
【中19回】
秋吉邦一郎
石澤 命徳
先山 賢
野澤(高橋)亨
池上(中島)頭
蛭川 親義

原田 直郎
渡辺十四生
【中20回】
柳田井上保男
池田 幹雄
今子 邦男
岩佐 幸男
川島 長利
桐山 輝彦
齊藤捨治郎
坂本 章
高野 宏樹
綱澤 敏之
長谷川友造
原田 芳雄
山中 勝
横町 實
吉村 選
【中21回】
大谷勇三郎
川崎 昭
木下喜一郎
紀乃 宏
豊田 俊一
鳥羽 如水
中谷 義男
前田 米典
山口 周吾
吉川 四郎
吉武恭一郎
【中22回】
荒川 昭三
上野 昇
神内 権治
齋藤 道雄
田中 昂
中西順一郎
中山 武吉
柳 三郎
広岡 勤
【中23回・高1期】
有田 幹雄
伊藤 務
飯島 宏
石田 三雄
小畑 文治
加藤 郁夫
國行 直孝
齋藤 泰一
高折 益彦
土田 善久
中井 武也
西水 俊
芳賀 洋
荒谷 克雄
栗根 功雄
田中 忠人
西島 靖之
船橋 健正
堀尾 恒彦
本尾 菊治
森田 雅大
【中24回・高2期】
鈴木 省輔
戸来 靖雄
浅井 由彦

池田 武
稲津 邦平
岡田 久男
海堀 常夫
北野 誠一
齋藤 頼
齊藤 省三
芝池 博司
多田 美邦
寺谷 修
中西 寛治
中村 栄一
野村 安俊
平田 秀晴
堀田 貞勝
山西陽一郎
【高3期・中25回】
内海 順夫
清水 英範
保良 昭
口羽 徹
有田 生雄
井上 寛二
石田 隆弘
今藤 隆右
臼井 卓
小野 宏
奥野 明雄
内山 敬康
角田 貞彦
柏原 幾松
神内 重明
京川 信行
河内 清亮
桜井 通義
橋澤 繁一
篤田 実
友国 泰治
中塚 善久
中村 廣志
長浜 好良
西村 好弘
福西 新輔
保科 正彦
前川 巖
牧野 峻三
正田 武弘
松尾宏太郎
松原 永次
横島 洋志
吉岡 照和
余田池上)宏子
吉村(大越)久子
佐藤(谷)睦子
奥野(斎藤)敏子
尾崎 功
尾林 氏淳
小畑(太田)譲
加古 正尚
草井 由博
栗岡 完爾
小泉 俊
後藤 康夫
佐竹 正杉
多河 正和
高橋 宏

岡本(古賀)篤
古武 史朗
佐竹 高明
刀襦 義介
皆見(中勝)美
中村 敬三
野津 義之
福谷 好次
古川 博市
水上 利夫
友國(光久)治
安中 一雄
和田 古壽
若宮 良行
渡邊 尚彦
三原(伊丹)磨智子
横田(稲葉)稔子
神畑(上田)治子
乾(喜多/保江)
佐江
子安日登美
足立(田辺)美子
宮崎 初子
【高5期】
阿賀 信夫
石橋 ルキ
稲野 廣
上原 道世
内山 敬康
角田 貞彦
柏原 幾松
神内 重明
京川 信行
河内 清亮
桜井 通義
橋澤 繁一
篤田 実
友国 泰治
中塚 善久
中村 廣志
長浜 好良
西村 好弘
福西 新輔
保科 正彦
前川 巖
牧野 峻三
正田 武弘
松尾宏太郎
松原 永次
横島 洋志
吉岡 照和
余田池上)宏子
吉村(大越)久子
佐藤(谷)睦子
奥野(斎藤)敏子
尾崎 功
尾林 氏淳
小畑(太田)譲
加古 正尚
草井 由博
栗岡 完爾
小泉 俊
後藤 康夫
佐竹 正杉
多河 正和
高橋 宏

中野(松岡)淳子
高原(井)喜久子
谷(村上)恒子
廣田(安江)利子
山本 洋子
【高6期】
赤松 眺
東 良三
飯田陽一郎
小口 良喜
小田 隆昭
鍛冶川 齊
北野 英次
住原 廣
関口 正一
田中 慎吾
高尾 良昭
高田 直彦
津田 裕三
東垣 英男
中村富次郎
今堀(中森)勇
西浦 良知
西嶋 順
西村 康男
福武 啓一
古屋 公男
北方 章夫
三宅 純一
山田 芳弘
山田 智
川戸(秋山)美智子
権田(新井)智子
山口(沢木)政宏
今木登美子
玉置(上原)大枝
陰山(岸岡)怜子
河野(小曾)初子
谷口(佐竹)由己子
正田(阪井)元子
田中(笹部)恵美子
島野 照子
浦野(高島)英子
松本(中村)悦子
西本(羽室)江美
西浦(早瀬)敦子
南田(樋口)信子
阪田(東田)英子
中原(山本)雅洋子
熊中(吉村)和子
【高7期】
今西 春禎
山本(内堀)茂
尾崎 功
尾林 氏淳
小畑(太田)譲
加古 正尚
草井 由博
栗岡 完爾
小泉 俊
後藤 康夫
佐竹 正杉
多河 正和
高橋 宏

武井 俊平
谷本 清彦
津田 康彦
塚本 邦雄
中井 梅雄
中村 允人
西山 浩
西山 蕃
延原 章生
林 正雄
平野 次雄
福武 平二
宮下 正憲
森井 正次
山下 房宏
山田 健治
山中 忠義
山本 泰男
渡邊 敦夫
宮川(浅井)正子
黒川(岩井)銀子
浅田(川勝)重子
板橋(北田)康美子
近藤(雲野)歌子
山口(越田)美子
澤田(佐々)重子
乗金(重成)幽美子
本田(高井)明子
井尻(村上)幸子
山本(矢田)温子
目加田(山浦)米子
林(山本)淑子
【高8期】
有田 春雄
伊木慶四郎
浦上 民男
江野脇正義
榎谷 實男
加藤(一男)隆至
河崎 博夫
河端 彪
君浪 宏
澤田 稔
新宮 晋
神保 雅明
田中 建六
高島 義衛
高田 雄彦
竹永 昭雄
寺澤 孝夫
中谷 達雄
中野 裕
西原 正
西原 浩
長谷川 哲
平川 英輔
廣瀬 正典
藤井 秀夫
本郷 英毅
松本 憲樹
三宅 晴
森 禎良
森垣友二郎
米山 宏
田中(安藤)智洋子
松本(池田)美穂子
吉治(炭木)和子
前中(伏石)明子
東(太田)敦子
田中(奥田)勲子
平井(梶)節子
金山 英子
河手 敏子
城戸 恭子

井上(楠山)美和子
恒部 雅美
大門(杉本)幸子
友国 敏子
田中(破戸)汎子
廣野(曲直部)
喜久子
石原(山口)洋子
【高9期】
油井 俊雄
伊瀬 亘
伊藤 暢朗
宇野 収
内野 輝夫
加納 邦郎
古賀 理一
芝田 良貴
菅瀬 透
瀬恒 心吉
田中 一行
戸田 忠夫
中江 育男
中村 典男
長岡 壽男
日光 寛
野畑 康
廣岡 輝一
藤山 進
堀田 芳男
水谷 忠昭
溝口 忠頭
横島啓太郎
中村(伊奈)好子
茂木(上島)喜久子
瀬谷(上田)千枝子
水谷(小田)農夫子
堀川(大村)敦子
高橋(加藤)松子
片山(加藤)由美子
井上(金澤)三智子
平岡(下田)佳代子
樋口(杉本)敦子
森武(瀬尾)恵子
野々井田(口)勝子
金谷(田中)千葉
渡辺(高松)栄
吉田(創田)幸子
上芝(中野)栄美子
阿部(伊生)多花子
木下(馬場)千恵子
阪本(増田)登代子
岩本(松井)美奈子
小西(森下)暢子
【高10期】
赤埴 豊
井内 敬
上田 暉夫
植木 茂昭
小澤 浩次
尾形 理一
金井 邦夫
飯家 公夫
篠田 純男
成戸 謙吉
原田 昭雄
平井 幸男
廣野 辰彦
村山 健

八幡 堅造
山岡 隆治
吉村 克彦
渡辺 貞昭
茂野(楠)桂子
伊東(小栗)洋子
久保(岡田)文子
鈴木(塩谷)元子
高見(田中)文子
谷野 桂子
下野(塚原)弘子
中井(古上)広子
山本(中家)万千子
春木(仁平)房枝
稲垣(原)千代子
菅野(平賀)淳子
星野 嘉子
伴(馬)上章代
英(三上)洋子
竹本(水谷)子
【高11期】
飯塚 恒久
奥谷 恭次
家門 正
極原英千世
木村 肇
北之坊(坊)司
佐竹 俊吾
白藤 孟志
武内 信憲
塚本 靖
中野 寛成
西台 宏
広瀬 省二
真鍋 惇
前田 恒憲
宮野 正仁
村中 滋
望月 秀泰
濱田(和久)恵
岩橋 博子
福田(田)みほ
瀬山(植田)節子
守矢(上柳)正子
加藤(岸本)博子
林(佐藤)よし子
小川(笹部)公子
堀野(田口)紀子
安藤(南部)佳子
賀元(西沢)澄子
櫻原(早川)令子
山下(村上)慶子
門田(山田)佳代子
【高12期】
阿賀 敏雄
浅井 晴雄
池田 昭夫
岩瀬 久雄
宇野 久義
上崎 良明
越智 常雄
川添 惟一
岸本 隆
近藤 統一
相馬 弘明
田中 治雄
野口 恭弘
原 弘

福崎 實
藤本 孝
堀内 重治
本田 隆
松尾 健介
松原 彰雄
三谷 光弘
水野 康夫
森本 敏
山路 紘一
木村(伊藤)寿子
寺野(泉)美代子
渡辺(川勝)波留美
窪内(菊池)明子
長谷川(下出)嘉子
吉田(中村)多恵子
池口(廣井)美智子
齋藤(花岡)悦子
三味(浜名)輝子
本多 郁子
井上(廣年)多加子
泉(水波)妙子
上田(山口)真美子
赤星(渡部)順子
【高13期】
石井 雅博
岩井 長信
加藤 友照
各務 正俊
数井 敬司
片桐 真二
河村 洋
河村 哲雄
佐藤 誠二
菅谷(一男)祥
高岡 敏昭
鷹 敏雄
武田 学
玉村 憲雄
中尾 寛次
中川 正昭
西井 昭
平野 政敏
藤間 純實
藤原 国広
前田周一郎
牧野 卓夫
宮西 康男
高岡(伊藤)浩子
森本(石川)美佐子
英(渡原)さよ子
五十嵐(小川)千佐子
勝田 保子
玉田(亀家)郁子
上田(木村)芳子
菅野(佐竹)和子
小西(笹部)孝子
名田(鈴木)章子
松本 欣子
高井(山崎)美津枝
【高14期】
井上 明夫
植田 隆
植田 邦男
浦 功
大庭 宏
押条 晃

河村 禮郎
久保 研二
島田 寿男
嶋田 邦征
下出 明孝
鈴木 義彦
高木 正彬
柘植 二郎
中野 正士
中野 英彦
中村明比古
西上 次
古川 実
堀内 肇
増田 崇雄
宮田 睦彦
村田 健
森崎 弘士
森里 信生
矢野 秀雄
安井 実
山路 昭
山森 康宏
依田 昌彦
和田 肇
中村(伊東)美子
和知(石川)富士子
井上(磯井)博子
林(宇野)敬子
星野(伏石)幸子
田辺(大森)敦子
茂木(小林)節子
杉田 詔子
加留部(田中)久美子
中野(三木)圭子
岡田(村井)真理子
龍尾(村上)絹子
【高15期】
安達 武雄
足達 統彦
伊藤 秀造
内田 康彦
内田 眞吾
尾崎 敏敏
越智 克司
織田 光昭
大沼 昭栄
木村 榮次
小山 明
佐藤 定昭
齊藤 亨
定森 悠
島田 康弘
鈴木 莞爾
田中 邦大
多田 博
高井 恒夫
高須 元洋
滝川 勲夫
鳥越 皓之
仲田 祐司
永田 武全
永松 通介
長本 利輝
昌中誠二郎
樋口 俊夫
保壽 康博

本田 唯泰
牧山 宗刀
三好 敏之
宮川 勝彦
村瀬 一郎
和田 公一
関根(阿部)秀子
岡田(神内)幸子
魚森(桑原)光代
増井(佐藤)敬子
永野 豊子
宗田(広嶋)京子
山中(増成)律子
北村(守屋)美枝子
永井(山本)恵美子
平田(吉村)由喜子
【高16期】
市橋 栄二
倉田 秀昭
島田 勝弘
島野 高志
中尾 幸道
中田 八朗
西尾 宏
野村 誠
畑中 昌三
平岡 文二
深井 三郎
益田 哲生
松原 徹雄
丸野鎌一郎
西澤(森井)信香
森里 光生
山本 弘志
吉武 一宏
三谷(植田)和子
城(小池)春美
鈴木(小松)和子
宿利(小山)典子
中塚(桜井)恒子
桂(関)富美恵
市川(波多野)美香子
山崎(原)建子
【高17期】
伊東 成芳
伊藤 正孝
上野 精一
尾崎 豊弘
小林 良三
鴻野雄一郎
佐藤 誠宏
酒井 民春
塩川 博康
電石 聡
末村 正樹
千田 智之
田中 清
田中 照司
永田 庸視
代谷(西野)誠治
中本 忠芳
松村 宗順
山口 時彦
和田 茂雄
高田(浅田)典子
末廣(井澤)久美子

親里(井原)啓子
今西 裕子
芋田 絹江
石井(伏久保)幸子
伊藤久保敬子
橋本(辻)保子
田中(中林)節子
橋本(西村)道子
森(林)万里子
神島(日南)保子
松嶋(平川)美津子
【高18期】
足立 肇
井上 泰一
石尾 賢一
岡本 力
近藤 洋
瀧川 宏
野一色 清
藤巻 光雄
荻原 健次
山川 英彦
吉田(飯田)ちずる
乾(運輸)宗利
大島(竹内)俊
山口(谷江)典子
佐藤(藤井)弘子
中川(一男)真子
竹中(中野)良子
深田(福田)悦子
【高19期】
大味 光一
奥村 雅俊
北村 正治
下條 信雄
住吉 廣行
関沢 愛
寺倉 進
道喜 義裕
中山 充史
難波 健
久田 正喜
本多 寛治
山西 洋一
井上(足立)富美江
上野(荒木)裕子
川合(下村)隆子
山内(高宮)悦子
友國(名出)加代子
矢澤(平瀬)道子
野村(森川)佳子
嶋津(吉矢)悦子
廣岡(李)珠子
【高20期】
有木 博美
稲葉 豊
植村 博行
佐伯 博
櫻井 章三
正寿 康雄
高田 裕文
鶴田 哲生
富田 栄一
中野 隆史
東浦 康友
夫津木 寛
深津 泰秀
藤村 修

豊陵会協力金のお願い

豊陵会会員の皆さまには、平素から格別なご理解と多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。皆さまから頂きました協力金は、豊陵会の活動と母校の教育活動支援のために大切にに使わせて頂いております。豊陵会会員の皆さまのご支援なくして、これらの事業を遂行する事は不可能でございます。何卒、豊陵会協力金の趣旨をご理解の上、お一人でも多くの方のご協力をお願い申し上げます。

●役員一覧 (平成26年4月1日現在)

☆印は、平成25年4月以降の新任

会 長	永田 武全(高15期)	豊田 俊一(中21回)	田村 雅史(高20期)	福中 寛子(高36期)	岡 美帆(高52期)	田辺 麻純(高60期)
副会長	越智 克司(高15期)	湯浅 一也(中21回)	中野 隆史(高20期)	古川智香子(高36期)	上原 拓真(高53期)	中島 早苗(高60期)
	木村 榮次(高15期)	飯島 宏(中23回)	長門 孝次(高20期)	津田 昌一(高37期)	杉浦 郁夫(高53期)	上栗 良介(高61期)
	中島 守(高22期)	西島 靖之(高1期)	守口 建治(高20期)	南里 吉彦(高37期)	兼田 美紀(高53期)	新居美奈子(高61期)
財務幹事	赤塚 雄一(高22期)	浅井 由彦(高2期)	加堂 裕規(高21期)	南 千恵(高37期)	五十里麻衣(高53期)	黒谷 光宏(高62期)
	萩原 哲(高22期)	政木 武(高2期)	田村 守(高21期)	木南 鼓(高38期)	寺脇 知里(高53期)	姫田 慎也(高62期)
会計監事	滝川 勲夫(高15期)	川島 保春(高3期)	福島 裕(高21期)	藤田 竜治(高38期)	森西 絵美(高53期)	山下 真護(高62期)
	宗田 京子(高15期)	小野 實(高4期)	豊田 宣子(高21期)	大西 花子(高38期)	國平 直樹(高54期)	川西 咲希(高62期)
幹 事	斉藤 省三(高2期)	道之前由志一(高4期)	吉田 優子(高21期)	佐藤 琴波(高38期)	雑賀 譲二(高54期)	小島 碧(高62期)
	妹尾 景行(高3期)	前川 巖(高5期)	上原 茂(高22期)	権藤由記子(高38期)	徳重美紀子(高54期)	松本 紗和(高62期)
	辻 彰(高3期)	八幡 弘道(高6期)	徳田 俊(高22期)	高畑 秀道(高38期)	圓岡 美幸(高54期)	田原 大祐(高63期)
	友国 泰治(高5期)	山笠 ゆみ子(高6期)	平野 二郎(高22期)	別所 邦彦(高39期)	臼杵 毅(高55期)	美野 千尋(高63期)
	上神 英二郎(高6期)	岸谷 由紀子(高6期)	福原 美典(高22期)	重村 桜子(高39期)	恩田 淳史(高55期)	井口 大夢(高64期)
	多河 正和(高7期)	石橋 美紀(高7期)	三木 茂生(高22期)	米田美代子(高39期)	横谷 圭祐(高55期)	上村 文哉(高64期)
	神保 雅明(高8期)	平野 次雄(高7期)☆	林 雅子(高22期)	山見 智子(高39期)	高橋 敏子(高55期)	上原 瑛美(高64期)
	大久保 孝(高9期)	浅田 重子(高7期)☆	桑畑 健二(高23期)	後藤 淳(高40期)	前防由利子(高55期)	星 安理沙(高64期)
	堀田 芳男(高9期)	成田 研一(高8期)	中木 常雄(高23期)	齊藤 雅彦(高40期)	勝部 義幸(高56期)	荒川 拳人(高65期)☆
	長谷川能民(高10期)	牧 雄彦(高8期)	深井 玲子(高24期)	徐 廷禹(高40期)	田中 良(高56期)	下村 龍一(高65期)☆
	内田 昌文(高11期)	東 敦子(高8期)	増田 吉則(高25期)	岡本 直美(高40期)	宮澤 佳樹(高56期)	植屋 陽佳(高65期)☆
	有田 進(高12期)	石田美代子(高8期)	折原 玲子(高25期)	櫻井さとこ(高40期)	梶谷 理紗(高56期)	川上 彩(高65期)☆
	川上 寛(高13期)	水谷 忠昭(高9期)	片山 泰子(高25期)	榎谷 礼子(高40期)	古澤 真希(高56期)	同期会世話役
	堀内 肇(高14期)	上田三千乃(高10期)	横井 葉子(高26期)	中嶋 ちさ(高41期)	星野 亜季(高56期)	中村 治貴(高66期)
	丸山 幸夫(高15期)	久保 文子(高10期)	雨宮 伸(高27期)	平野 直子(高41期)☆	尾崎 優(高57期)	石川 美里(高66期)
	村瀬 一郎(高15期)	猪谷 正臣(高11期)	石田 省三(高27期)	中西 育代(高41期)☆	小松 光一(高57期)	伊達 巧(高66期)
	梶山 四郎(高16期)	平井 昭(高11期)	勝又 敏夫(高27期)	堀岡 良則(高41期)☆	比嘉 雅浩(高57期)	村岡 彩夏(高66期)
	高坂 敬三(高16期)	植田 元則(高12期)	神川 定久(高27期)	白木 智巳(高41期)☆	安福 一貴(高57期)	中村 環太(高66期)
	須賀 寅充(高16期)	菅谷 梓(高13期)	吉田 伸一(高27期)	久代希予子(高41期)☆	筒井 優沙(高57期)	桑原 寿奈(高66期)
	中田 八朗(高16期)	岩武 萬子(高13期)	長岡佐江子(高27期)	山中美由紀(高42期)	大西 唯(高57期)	市川 岳人(高66期)
	正岡 哲(高16期)	小出 君子(高13期)	明里 一孝(高28期)	小林 知博(高42期)☆	平尾 友美(高57期)	菅野 知佳(高66期)
	西澤 信善(高16期)	浦 功(高14期)	松井 豊(高28期)	酒匂 建文(高42期)☆	上西 将司(高58期)	大竹 弘泰(高66期)
	松村 宗順(高17期)	中野 英機(高14期)	笠井 信吾(高29期)	村上 陽子(高42期)☆	早野 貴至(高58期)	山内 里花(高66期)
	石川 国義(高18期)	矢野 秀雄(高14期)☆	矢野 正仁(高29期)	佐々木有里(高42期)☆	中村 志穂(高58期)	西岡 祐飛(高66期)
	佐野 紀夫(高18期)	森里 信生(高14期)	石垣 美紀(高29期)	尾上 高志(高43期)	門脇 亮太(高59期)	信山ひな子(高66期)
	転法輪真理(高18期)	依田 昌彦(高14期)	前田 妙子(高29期)	児玉健太郎(高44期)	尾西 沙絵(高59期)	龍本 雄大(高66期)
	岡嶋 豊(高19期)	井上 博子(高14期)	久井 主税(高31期)	高橋 繁生(高44期)	岸田絵里加(高59期)	堺 美来(高66期)
	野原 嗣久(高19期)	足達 統彦(高15期)	山下 典子(高31期)	北之坊晋次(高45期)	石野 勇次(高60期)	牧 省吾(高66期)
	渡辺 寿一(高19期)	高須 元洋(高15期)	松本 良枝(高31期)	市原史津子(高45期)	喜多 芳裕(高60期)	太田 枝織(高66期)
	高田 裕文(高20期)	中村 信(高15期)	升井 知子(高31期)	橋本 匡弘(高45期)☆	吉田 将平(高60期)	下川 朋之(高66期)
	矢澤 マリ(高20期)	仲田 祐司(高15期)	門田 浩一(高32期)	下村満美子(高45期)	石井 友梨(高60期)	上野山奈々(高66期)
	牧野 隆(高21期)	渡邊 元(高15期)	北原 千春(高32期)	三戸 優香(高46期)	柏原 成美(高60期)	
	河田 一裕(高23期)	永野 豊子(高15期)	赤松 史朗(高33期)☆	野田 健一(高48期)		
	熊澤 一郎(高23期)	中出 幸子(高15期)	岡田 誉雄(高33期)☆	古澤 頼秋(高48期)		
	永井 宏明(高23期)	迎田 允武(高16期)	中尾 郁子(高33期)☆	和田あやか(高48期)		
	中野 隆子(高26期)	大川慎太郎(高16期)	沖原みゆき(高34期)	石黒 陽子(高49期)		
	加藤 芳哉(高29期)	湊 稔(高16期)	門田 佳子(高34期)	多賀 朋子(高49期)		
	神戸 裕子(高29期)	千田 智之(高17期)	中原 洋子(高34期)	赤松佳代子(高50期)		
	永井 裕(高30期)	廣野 敏生(高17期)	河野 浩明(高35期)	山口 真歩(高50期)		
	橋田 浩(高32期)	藤田 進(高17期)	田中 元彦(高35期)	磯部 光男(高51期)		
	亀井 圭子(高37期)	宮崎 保之(高17期)	吉本 正樹(高35期)	畑 雅三(高51期)		
評 議 員	藤田 巖男(中10回)	石尾 賢一(高18期)	岸本 一蔵(高36期)	山田 あや(高51期)		
	越田 泰生(中16回)	小林 正明(高18期)	重定 宏明(高36期)	佐藤 健(高52期)		
	高橋賢太郎(中17回)	古川美重子(高18期)	田中 一史(高36期)	齋藤 佑樹(高52期)		
	松浦 茂(中19回)	尾上 修一(高19期)☆	城戸 史子(高36期)	花畑 雄(高52期)		
	佐藤 雄直(中20回)	奥田 逸朗(高20期)	中村 康子(高36期)	南岡 俊之(高52期)		

▽部会長

総務部会長 村瀬 一郎(高15期)
 会報部会長 神保 雅明(高8期)
 会報副部会長 妹尾 景行(高3期)
 資料室部会長 川上 寛(高13期)
 IT推進部会長 丸山 幸夫(高15期)
 IT推進副部会長 渡辺 寿一(高19期)

▽事務局

事務局 長 中尾 寛次(高13期)
 事務局 員 高岡 浩子(高13期)
 野村佳乃子(高19期)
 伊藤 晴康(高21期)☆
 菅 祐子(高32期)
 江連 郁子(高32期)

鋼材の電子商取引
 営業マンの顔が見えるサイト
hanwa-steel.com



<商社> 東証一部上場

 阪和興業株式会社

FOOTWORK, TEAMWORK, NETWORK を活かして

HANWA CO., LTD.

TOKYO 東京支部

141名が参加 東京支部25年度総会

2013年度東京支部総会・懇親会は、6月22日(土)正午から新宿の「ハイアットリージェンシー東京」で開催されました。本部からは、永田武全会長、母校の下川清一校長先生、恩師ご招待の弓庭喜和子先生の3人のご来賓をお迎えで、学士会館から3年ぶりに会場を新宿のエレガントなシティホテルに変更したこともあり、ここ15年では最高の、141名の皆さまにお集まりいただくことができました。着席ビュフェスタイルで、美味しい中華料理でゆっくりと和やかな食事と歓談が進む中、恒例でありますマッチング&アピール・コーナーでは、元気な若手出席会員のアピール等で繋がりを深める活気あるコーナーとなりました。有志会員提供のプレゼント争奪じゃんけん大会で大いに盛り上がる中、校歌を全員で斉唱し、総会・懇親会は幕を閉じました。このあと二次会に繰り出す期もあり、また別室で用意された「弓庭先生をかこむ会」には、21期から46期までの教え子28名が参加して、懐かしく、楽しい語りあいが続き、別れを惜しみながら、午後5時過ぎにお開きとなりました。(東京支部長 高13 松本洋)



話がつきない懇親会

今年の東京支部総会・懇親会 6月21日(土)ハイアットリージェンシー東京で開催

平成26年6月21日(土)正午から、今年も新宿のハイアットリージェンシー東京で開催します。東京支部恒例の「恩師招待」は、昭和34年から58年の長きにわたって在職されました保健体育科担当の丸岡一清先生をお招きします。多くの皆様に年に一度の総会懇親会をお楽しみいただけ

るよう鋭意企画を進めております。最新情報は、FACEBOOK「豊陵会東京支部」で逐一お知らせいたします。ご期待下さい。首都圏在住の同窓の皆様方の縦・横の絆と交流を深めていただける絶好の機会です。お誘い合わせの上多数ご出席下さいませようご案内申し上げます。

会 費	事前振り込み	当日払い
一 般	7,500円	8,000円
夫婦(2名分)	14,000円	15,000円
学 生	3,000円	
新卒生(66期)	無料ご招待	

個別のご案内は、5月上旬に各期の常任委員から発送・発信しますが、新たに首都圏に転入されたりして届かない方は東京支部事務局(houryou.tokyo@gmail.com)までメールでお知らせ下さい。案内状と払込取扱票をお送り致します。



じゃんけん大会で大盛り上がり

プラネタリウム観覧ツアーも 第6回中部支部総会を開催



昨年11月9日、名古屋商工会議所の名商 Grill において、永田会長・下川校長のご出席をいただき、第6回豊陵会中部支部総会・懇親会を開催しました。

恒例の講演会は、講師を京都大学理学研究科附属天文台台長の柴田一成氏(高25期)にお願いし「太陽の脅威とスーパーフレア」というテーマでお話いただきました。



太陽ではフレアと呼ばれる爆発現象が頻繁に起きており、地球の環境や社会に少なからぬ影響を与えているが、数千年に1回は超巨大爆発(スーパーフレア)が起き、停電や通信障害だけでなく放射線によって生命にも危険を及ぼす可能性があるということです。「地球上から恐竜が絶滅したのは巨大隕石の衝突によるというのが通説だがスーパーフレアの可能性もある」という少し“怖い”お話でした。

また今回は初めての試みとして支部総会前に名古屋市科学館のプラネタリウム観覧ツアーを行いました。講演会のテーマに合わせての企画で大変好評でした。(中部支部書記 高27期 中村佐知大)

今年は
11月15日(土)
15時開催

今年の総会は11月15日(土)午後3時から名商 Grill で開催します。今年も手作りの楽しい総会にしたいと思います。ぜひご参加ください。

豊陵会報 玉手箱

1953
(昭和28年)



昭和28年9月、戦後再刊第一号の「豊陵会報」に小説家の三島由紀夫（1925～1970）の特別寄稿が掲載されている。これは、多田勝彦さん（高3）のご好意によるものと編集後記に当時の編集長の小山三郎先生（英語教諭・中1）が記している。

この記事のタイトルでもある「愛の渇き」とは、三島由紀夫の4作目の長編小説。昭和25年（1950）に書き下ろして新潮社より刊行された。郊外の田園を舞台に、嫉妬の苦しみに苛まれた女性の情念が行き着くところを鮮やかに描き、高い評価を得た作品である。

この作品のモデルとなった農園は豊中市旭丘にあった江村義三郎の一万坪の別荘兼農園である。ちなみに文中にある三島の叔母は江村宏一さん（高4）、江村高志さん（高5）の母親にあり、豊中と三島文学の浅からぬ縁を実感できる内容となっている。



昭和33年オープン当時の旭ヶ丘団地とかつての農園の名残をとどめる江村邸（左下）。江村宏一さん提供（広報とよなかより転載）

「愛の渇き」の踏査

三島由紀夫

「愛の渇き」といふ小説は小説中に米殿村といふ名で出て来る豊中市熊野田の土地をモデルにしているが、モデルのあるのは土地の背景だけで、登場人物にはモデルはないと謂っている。

前から叔母の嫁している熊野田の農園およびその近隣の風光には、叔母の口からきいて、魅力があった。いつか書きたいと思っていたが、訪ねる機会がなかった。

あるとき上京した叔母の口からその風景と生活をきいているうちに、急に私に一つの物語が湧き起こった。當時モオリヤックの小説に傾倒してをり、又、都會の小説に飽きていた私は、何とか田園の小説を書きたいと思っていた。しかし土地の生え抜きの人は書くのがむづかしいから、都會人の入りこんでいる田園を都會人の目から見た小説にしたいと考えていた。そこで新潮社からたのまれていた書下し長篇小説を、この物語に充てることにして、物語の骨子を組み立てにかかった。昭和廿四年の初秋のことである。

私が熊野田に行ったのは、たしか十月か十一月であつたが、それは丁度映画のロケーションに行くやうに筋立てもシナリオも決まつてから、その登場人物を動かすために好適の自然の背景を求めに行つたのである。だから厳密な意味の取材旅行ではなく、私の踏査はかふうも

のが多い。これは私の小説の方法にもよるのであらう。

熊野田に農園をもっている叔母の婚家に滞在することは、その叔母の舅夫婦などにも初対面のため、氣詰まりであつたので、ほかに宿をとつて通ふことにした。當時、大阪にはよいホテルがなかった。大阪駅長の紹介で、宝塚の第一ホテル（といふ名だつたと思ふ）という橋の袂のホテルに泊まつた。電車での熊野田への往復に、宝塚の生徒たち大ぜいと同乗するのは面白い経験であつた。このホテルは川音の雨のやうにきこえるホテルで、旅情があつた。結局踏査のため滞在は一週間ぐらいであつたやうに記憶する。

熊野田の農園までは、電車の駅から、歩いて三十分ほどであつた。三十分の半分は田圃道で、雨の日などは難澁した。しかし雨の風景も見なければならぬから、二日も欠かさずに通つた。そして路傍に面白いものが見つかる、傘の柄を肩とアゴで支へて、メモをとつた。

大体私は忘れっぽいタチで、すぐメモをしておかないと、大抵のことは忘れてしまふ。一つには、さういふ習慣がついてから、メモをとること以外は忘れてよいものと、頭のほうでも思ひ込んでいふらしい。農園では、朝から晩まで目を皿のやうにして、物置のなかまでのぞいてあらゆる自然と生活のディテールを書きとめ、人の話は片言隻句にいたるまでメモしておいた。この一見原始的な調査の方

法は小説をいざ書いてみると、大変有効なことがわかつたので、以後私はこの方法を固執するようになった。小説の一つのクライマックスに使はれて火祭り、岡町駅附近の八幡宮で實見したものである。服部霊園もそのまゝの寫生である。

それから小説の導入部で女主人公の良人がチフスにかかるところが出て来るがこれは、終戦の秋、私の妹が腸チフスで死んだので、この病氣のほげしい状態と死にいたる経過をわが目で見たまゝに書くことができた。

岡町駅から農園に行くまでのあひだに、府営住宅の一群がある。その平和を、女主人公の生活の悲劇と對照させて書いたのが、誤解されたりしく、この小説が出てのち、叔母のところへ、府営住宅から抗議を申込んで来たさうである。

また、三郎の天理教のことは、別の親戚に天理教信者がいて、この宗教が風土色を出すのに面白いついて使ふうち、氣のつかぬ間に、すでに三つ四つの小説に天理教を出してしまつたが、天理教のはうでは、いくらか氣にしているといふ話である。

實地に書いたのは、翌昭和廿五年の春であつた。知人の家に仕事部屋を借りて、毎日辨當持ちで通つて書いた。小説書きも御苦労な仕事である。作中、自信のない方言はひとつも使はず、三郎と彌吉の妙な言葉づかひをのぞいては、皆標準語で通した。

2014年大学受験の結果速報

今年の大学受験結果を進路指導部の資料をもとに掲載します。

3月28日現在、進路指導部が速報値として把握した資料を掲載しています。受験生徒からの報告集計であり、今後到着する結果報告で数値が変わります。確定数値は豊高HPで、また6月の3年生徒への『進路指導資料』に発表される予定です。

■平成26年度入試 卒業生の合格者数状況 (3月28日現在)

()内は現役合格者数、私立は延べ数。

【国立大学】北海道大3(2)、弘前大1、東北大1、筑波大2(2)、埼玉大1、一橋大1(1)、東京工大1(1)、東京海洋大1、横浜国立大1(1)、静岡大4(3)、信州大1、名古屋大1(1)、名古屋工大1(1)、三重大1、滋賀医科大1(1)、京都大6(4)、京都工芸繊維大7(4)、京都教育大3(3)、大阪大39(18)、大阪教育大16(12)、神戸大31(25)、奈良女子大1(1)、広島大1(1)、島根大1(1)、徳島大1、香川大1、九州大1(1)、防衛大学校1。

【公立大学】埼玉県立大1(1)、高崎経済大1、都留文科大1、滋賀県立大3(1)、福井県立大1(1)、京都市芸術大2(1)、京都府大3(2)、京都府立医科大1(1)、大阪市大25(18)、大阪府大12(4)、神戸市外大5(4)、兵庫県大6(2)、奈良県立大1、岡山県立大1、香川県立保健医療大1。

【主な私立大学】早稲田大17(5)、慶應義塾大6(1)、東京理科大7(5)、国際基督教大1(1)、上智大2、青山学院大3、明治大10(5)、中央大3、立教大2、法政大6(3)、関西大124(72)、関西学院大172(133)、同志社大166(86)、立命館大209(104)、京都産業大5(1)、龍谷大9(4)、京都女子大10 (10)、京都薬科大3(3)、同志社女子大21(20)、佛教大3(3)、大阪医科大6(6)、大阪薬科大1(1)、近畿大55(32)、大阪工業大2(1)、関西外国語大2(1)、甲南大14(9)、甲南女子大1(1)、神戸薬科大3(3)、神戸学院大3、武庫川女子大25(25)、神戸女学院大2(2)、神戸女子大2(2)

【専修学校等】大阪厚生年金1、国立病院機構2

【就職 なし】

● ● ● ● ●

■平成26年度 教職員の人事異動

岡田教頭が【みどり清朋】校長に

4月1日付の府職員人事異動が発表されました。今年は例年より少ない異動数となりました。

転出入のお名前は次の通り。カッコ内は転出先・前任の校名など。

略号 退＝定年などで退職。退再＝退職して再任用。期付＝常任講師。非講＝非常勤講師。

■転出等

教頭＝岡田憲玄（みどり清朋・校長）▼国語＝林出勝代（河南）

▼理科＝阪本政行（刀根山）・高倉俊一（北千里）・中川道廣（退職）

▼体育＝石渡晋（北千里）▼英語＝太田絵里夏（退期付）・馬淵早智（箕面）▼情報＝堀上哲睦（退期付・枚方津田）▼実習教員＝稲垣公英（退再・咲州）

■転入等

教頭＝石田利生（山本）▼国語＝國友奈美（池田）▼理科＝木下真由美（期付）・木村泰彦（期付）・坂田霞（新採用）▼体育＝増田昇大（新採用）・小川憲人（非講）▼芸術（美術）＝寺井寿子（非講）▼英語＝梅原拓也（池田）・城佑祐樹（箕面支援）▼実習教員＝出来享子（泉尾）

「SGHアソシエイツ」に指定される

文科省は3月28日、「グローバル・リーダー育成に資する教育の開発・実践に取組む高校」（スーパーグローバルハイスクールⅡSGH）を全国で56校を指定した。豊高は指定に漏れたが、「SGHアソシエイツ」の名称で同事業推進の協力校として全国54校の中に選ばれた。

大阪府の選定校 SGH（全国56校）北野・三国丘・関大高等部▼SGHアソシエイツ（全国54校）Ⅱ豊中・四条畷・能勢・千里・関西創価・大教大付平野。

今年の大学入試 進路指導部から

平成26年度入試が終わり、合格者数の集計結果を別表に示しました。3月28日時点での数ですので誤差があるかと思いますが、今後修正を加えていきたいと考えております。最終的な結果は、本校HPに掲載する予定です。

3年生4月時点の志望状況では、例年と比べ、京大志望と神大志望が増加、阪大志望は例年並みでしたが、受験結果においても同様となり、浪人生も含め、大躍進の結果になりました。特に京大は近年現役生合格者が1名程度でしたが、今年度は4名（現浪6名）の合格となったのを始め、阪大は昨年比8名の増加、神大は11名の増加となりました。

今年度は文理学科4クラス159名の最初の卒業年となりますが、京大、阪大、神戸大の合格者について、文理学科の割合を見てみると約67%を占め、文理学科の健闘がうかがえます。また、今年度の傾向として、地元の大学だけではなく、東工大や筑波大、一橋大、早稲田大など関東方面にも自分のやりたいことを実現するために志望、合格する生徒が出てきているのも特徴といえます。これはSSHなどに取り組むなかで、本当に自分のやりたいことを見出す生徒が増えてきたからかもしれません。

さて平成26年度ですが、新1年生は4月2日に入学式を終え、4月3日にはオリエンテーションを行ない高校生活へのスタートを切りました。9月には今年も豊高OBの方をお招きして職業別講演会を行う予定です。（進路指導部）

◇

進路指導部よりのお願いです。卒業生の方で大学受験をし、合格または進学された方は、①期 ②名前 ③大学・学部名を豊中高校にお知らせください。どうかよろしく願います。メールの場合は、下のアドレスをお願いします。

goukaku@toyonaka.osaka-c.ed.jp



学校ニュース
のページ

現役・浪人ともに大健闘

学校生活



「シンガポール国際科学チャレンジ2013」

世界中の12の国と地域から27チーム81名の高校生たちが参加し、①科学研究ポスター発表、②フィールドワーク発表 ③科学創作デザイン発表の3部門のコンテストが行われました。日本からは本校で入学当時からSSH活動に取り組んできた3年生3名が参加しました。

科学研究の部門では、「奄美大島のノイヌ・ネコの食性調査」に関する研究の発表を行いました。また、河川の水質と周辺の動植物の生態調査をするフィールドワーク部門、水の自立循環と自家発電システムを持つ近未来都市をデザインする創作デザイン部門では、海外の高校生たちと交流・議論をしながら取り組み、見事3位と1位の優秀賞を獲得することもできました。



「体育大会」

平成25年6月6日、恒例の体育大会が開催されました。「橙団」、「朱団」、「紫団」、「青団」の4つのチームに分かれて、それぞれに工夫を凝らした応援リーダーの衣装と、お揃いのTシャツで登場し、各種リレーや「台風の目」「綱引き」「騎馬戦」などの団体競技で競い合いました。また、2年生による「ダンス」と、3年生による「パフォーマンス」は、年々パワーアップして惜しめない拍手が送られました。

中間考査後の一週間ほどの短期間で各団のリーダーを中心に、「立て看板」や「応援合戦」の準備が行われ、豊高生は例年と同様に素晴らしい集中力を発揮しました。季節外れの暑さの中、多くの来場者があり、熱く燃えた一日になりました。



「修学旅行」

平成24年7月4日から7日まで、2年生は北海道道央へ3泊4日の修学旅行に行ってきました。

初日は伊丹空港から飛び立ち、新千歳空港到着後、旭山動物園とノーザンホースパーク・ファーム富田に分かれて北海道を楽しみました。2日目は、各自が選んだプログラム(マウンテンバイク・清流魚釣り・生キャラメルとアイス作り)とラフティングを体験し、3日目は、ファームビジット。天候にも恵まれ、ラフティングでは北海道の大自然を満喫し、ファームビジットでは農業体験の後でジンギスカンやメロンをごちそうになりました。また、3日目の夜は全体レクリエーションが開かれ、生徒が趣向を凝らした出し物を次々に演じ歌い、楽しい時間を過ごしました。最終日は、小樽でクラス写真を撮影後、グループに分かれて小樽の街を自由散策しました。生徒は昼食では小樽の味を堪能し、たくさんのお土産を買っていました。

この間、ホームページには、例年同様に修学旅行ブログが開設され、リアルタイムで報告が掲載され、非常に多くのアクセスがありました。

その他の活動

- スキースノーボード講習会：1年生、平成25年12月24日～27日、志賀高原
- 英国語学研修旅行：平成25年7月21日～8月2日、イギリス・バース
- 1年オリエンテーション合宿：平成25年4月3日～5日、新大阪近辺のホテル



「造形二科展」

平成26年2月10日から14日まで、豊中高校1階の3年1組から4組までのHR教室にて1年生の美術および書道選択者による作品の展示「造形二科展」を開催しました。



「文化祭」

厳しい暑さの中、平成25年9月7日、8日に文化祭が開催されました。柔剣道場では、豊高文化祭の名物となった3年生の「演劇」の発表、体育館では、吹奏楽部、軽音楽部などの発表が行われました。校舎内では、各クラスの企画(お化け屋敷、映画上映、喫茶店など)や各文化部(漫研、華道部、書道部、美術工芸部)の展示など、生徒の創意工夫あふれる催しで賑わいました。また、7日夕刻は中夜祭が行われ、バンド演奏やダンス、漫才などの発表で大いに盛り上がりしました。入場者数は昨年を上回り、校内が人であふれる状況でした。



「スーパーサイエンスセミナー」

1年生希望者40名を対象に、土曜の時間などを利用し、サイエンスに関わる実験・実習などを行って

ます。また、コミュニケーション・ディスカッションなどについての特別授業も行い、基本的な知識・技能だけでなく、科学的な思考力や表現力を養うことをめざしています。

不思議に思ったことを自分たちで検証していくという、科学の魅力に取りつかれた生徒たち。その熱気と興奮に教室は毎回包まれていきます!1年間の活動を通して、教科や、理系/文系という枠にとらわれることなく、科学に対する幅広い興味・関心を持った、貪欲な生徒たちが育ってくれています。



「豊高プレゼンテーション」

平成26年2月7日、池田市民文化会館アゼリアホールで第2回「豊高プレゼンテーション」が開催されました。昨年、音楽会と文化・研究・授業発表の要素が加えた第1回以上に内容の充実を図りました。第I部は英国語学研修発表、文科課題研究発表、東日本大震災ボランティア活動報告、群読の発表、創作ダンスの実演が行われました。中でも群読は総勢121人で平家物語「木曾最期」を声を揃えて発表するもので迫力がありました。第II部では、1年生による混声合唱や吹奏楽部の演奏が行われ、最後は1年生の音楽選択者全員で歌う「凱旋の歌」で締めくくられました。

◇卒業生による職業別進路講演会実施

平成25年9月19日に卒業生が在校生に自分の職業の講演をする授業が行われた。

期	名前	職業	現在の勤務先
35	山本 朝子	薬剤師	参天製薬(株)
39	鳥海 亜哉	キャリアカウンセラー	大阪府立大学キャリアサポート室
41	酒匂 建文	公認会計士	株式会社COMPASS
54	大野 美幸	公務員	豊中市役所 教育総務室企画チーム
39	豊田 裕司	経営	巴製作所
41	藤岡 敦子	キャビンアテンダント	
35	海堀 昌樹	医師	関西医科大学附属枚方病院
41	安威 俊重	技師	三菱重工
35	関 純子	アナウンサー	関西テレビ放送
44	大辻 晶子	初等教育	茨木市立中津小学校
42	小林 知博	大学准教授	神戸学院大学
53	川舟 史晃	銀行員	三井住友銀行

豊高スポーツ

1年間の記録

◆野球

- ▽秋季近畿地区高校野球大阪府予選
豊中9-0淀商業
豊中9-7東住吉
桜宮10-5豊中

◆アメリカンフットボール

- ▽第43回関西高校選手権予選
近大付属15-12豊中
- ▽第44回全国高校大阪府予選
大阪学院21-24豊中
高槻26-0豊中

◆ラグビー

- ▽近畿大会府予選
四条畷33-0合同チーム
(池田、豊中、千里青雲、履正社)
- ▽大阪総体予選リーグ
鳳57-0合同チーム
大阪産大132-0合同チーム
- ▽全国大会府予選
関西大倉10-12合同チーム
(池田、豊中、千里青雲、履正社、大商学園)
- 桜塚38-12合同チーム

◆薙刀

- ▽大阪高等学校総合体育大会
演技の部 ベスト8
- ▽近畿大会大阪府予選
団体の部 3位 (近畿大会出場決定)
演技の部 4位 (近畿大会出場決定)

◆ダンス

- ▽南港ダンスフェスタ 予選通過
- ▽ダンススタジオ予選 予選通過
- ▽ダンススタジオ全国大会出場

◆バドミントン

- (男子)
- ▽豊能地区高校大会
複 準優勝
- ▽大阪高校総合体育大会(複)
豊中2-0枚方津田
豊中2-0箕面自由
豊中2-0吹田東
大和田2-1豊中
- (女子)
- ▽大阪高校総合体育大会
(団体でベスト16)
豊中3-0桜塚
豊中3-2交野
豊中3-1池田
阿武野3-2豊中

◆バスケットボール

- (男子)
- ▽大阪府高校総合体育大会
豊中102-61大冠
豊中71-57東淀川
豊中53-41北野
福井80-57豊中
- (女子)
- ▽大阪府高校総合体育大会

豊中80-59聖母被昇天学院
東淀川57-51豊中

◆ソフトテニス

- (男子)
- ▽ウィンターカップ 中央大会出場
- ▽公立大会個人戦 中央大会出場
- ▽大阪府新人大大会個人戦
中央大会出場
- ▽大阪府新人大大会団体戦
泉陽3-0豊中
- (女子)
- ▽大阪高体連夏期新人戦 3位、9位
大阪総合体育大会団体予選
豊中2-1東海大仰星
千里2-1豊中

◆男子バレー

- ▽大阪府高校総体兼全日本高校選手権
地区予選
豊中2-1咲くやこの花
星翔2-0豊中
- ▽新人大大会
長尾2-0豊中
清教学園2-0豊中
大体大浪商2-0豊中

◆女子硬式テニス

- ▽サマーテニストーナメント
豊中6-1門真なみはや
豊中6-4山本
梅花2-6豊中
- ▽大阪高校総体
泉陽6-1豊中
豊中6-2西
大商6-1豊中
- ▽秋季公立高団体戦
豊中4-1高津
豊中3-2八尾翠翔
槻ノ木3-2豊中

◆女子ハンドボール

- ▽春季総体
豊中23-10金蘭会・関大北陽
摂津13-8豊中
- ▽秋季総体
豊中18-11大冠
豊中23-11泉北
宣真47-7豊中 大阪府ベスト8
- ▽新人大大会
豊中19-18茨木
豊中14-5牧野
豊中9-18千里青雲

豊高文化部

◆文芸

- ・文化祭で部誌「銀杏」販売
- ・[月刊文藝部豊饒]作製

◆生物研究

- ・三国立高校研究発表会
- ・第60回日本生態学会 静岡大会
- ・大阪府高等学校生徒生物研究発表会

◆美術工芸

- ・第65回府高等学校美術工芸展 出展

◆電気物理研究部

- ・地域子ども教室カーニバル
おもしろ科学教室 実演

◆漫画イラスト研究

- ・第22回 全国高等学校漫画選手権大会
まんが甲子園(予選敗退)

◆軽音楽

- ・We are sneaker Ages 予選7位

◆音楽

- ・堀田会館で発表
12月21(土)「ふれあいサロン」でクリスマスコンサート

話題を残して卒業の2選手・・・・・・・・・・・・・・・・

明瀬優香さん 女子80メートルで前年度につづいて近畿大会出場を果たした3年明瀬(みよせ)優香さん。2年連続の近畿大会出場は昭和63年の堀本悟史さん(高41=走り高跳びでインターハイ連続出場)以来の快挙。

近畿大会では居並ぶ私学の強豪相手に自己新記録を更新したが全国大会には及ばなかった。名古屋・神丘中学時代、200メートル県下7位の實力は豊高入学後、中距離に転向。1日1時間半の短いクラブ活動時間の中で真摯な姿勢で他の部員をリードし、女子のレベルを上げさせた功績は評価される。

井手麻由佳さん 小学校3年生以来「箕面モンキーズ」の投手、箕面六中の正二塁手として活躍。北野高校野球部は女子の入部を認めないというので豊高に入学。当時の吉田顧問の「特別扱いはいらない」という方針のもとで創部90年の本校野球部初の女子選手として充実した3年間を過ごした。大阪府高野連が女子の公式戦出場を認めないので練習試合で二塁手に起用され得意のバントだけでなく、打撃でも3割近い打率を残している。夢は大きく大阪体育大でさらに高度な技術を求め、女子野球の日本代表を目指したいという。

豊中高校創立 100周年の夢

—あと7年—

昔、生徒 今、先生
教師になって帰ってきた豊高生

豊高魂

58期 上西将司(社会科)

豊高時代というと、日々を楽しく過ごし、なによりクラブ活動に明け暮れていたことを思い出します。

教師になり、生徒たちと接していると、「クラブ活動は勉強の負担になる」や「勉強とクラブとの両立を自分にはできるのか」といった勉強を学生生活の中心とした考えの悩みが多いと感じました。学生の身分として間違っていないものの、卒業生としては淋しく思います。勉強が大切だとは理解しているからこそ、それだけに偏らず、好きなことにも情熱を注ぎ、「二兎追うものは一兎も」というが、豊高生として、あえて二兎を追う」という姿勢は、自分たちが先輩方の背中から学んだことであり、私が豊高時代感じた豊高魂でした。

夢中になれるものを見つけて

60期 田辺麻純(国語科)

私が豊中高校を卒業したのは六年前、このような形で母校に戻ってくることになるとは思ってもみませんでした。教えていただいていた先生方に「田辺先生」と呼ばれ、同じ職場で働くというのは、いつまで経っても慣れません。

この豊中高校で私は国語が好きになり、すばらしい先生方に恵まれ、教師という職業を志しました。私がそうであったように、高校生活では、夢中になれる何かを一人でも多くの生徒に見つけて欲しいと思っています。時には仕事として、時には趣味としてそれに関わり続けることができれば、それはこの先の人生の支えになってくれると思うからです。目先の点数や大学の名前ばかりを気にするのではなく、友達や周りの人たちと様々な体験をし、生涯夢中になれる何かを探して欲しい。好きなことを職業にでき、恵まれた環境の中で働ける幸せをかみしめながら、そんな思いを持って、日々生徒と向き合っています。

息抜きの天才

57期 安福一貴(英語科)

私は、57期の豊高生。今、私が担任を持っている豊高生は67期。10年の時を経て、教員として豊高にいます。

私の豊高時代は、そんなに真剣に勉強に取り組んだわけでもなく、のんびりと過ごした3年間でいい。良き友達に恵まれ、「息抜き」の言い訳でよく遊びました。そんな私が今、生徒たちにとってどこかはよい気持ちを抱きながら、「勉強しろ」と言っているのです。母校で教員として過ごしていると、

自分の豊高時代を思い出す瞬間に何度か出くわします。体育大会のダンスや文化祭の演劇など、行事に力を出し尽くす生徒たち。昼休み中庭の「風と光」の下で友達と弁当を食べている生徒たち。勉強も一生懸命、行事もクラブも一生懸命に取り組めるのは、それは豊高生が「息抜きの天才」だから。脈々と引き継がれてきた豊高の伝統は、このメリハリから生まれてきたように思います。これからの豊高生にも、「心のゆとり」を持ち、友達と過ごす息抜きから多くのことを学んでいってほしいと思います。

エネルギー

53期 五十里麻衣(音楽科)

縁あって、豊中高校の音楽担当となり二年。エネルギーな歌声が教室に響く授業は、仕事でありながら、私の楽しみの一つになっています。

笑顔いっぱい楽しそうな歌声。かと思えば、勉強のストレスの発散かというように叫びに近い歌声。けれど、音楽会に向けては一致団結！この時の合唱にはぞくぞくと鳥肌が立つほどです。

彼らの歌声からは、多くの可能性や底知れないエネルギーを感じます。また、音楽が人を感動させるのは小手先の技巧やテクニクではなく、演奏者の「姿勢」そのものだ改めて思わされました。

毎回、小さな喜び・感動・時に：いかりをプレゼントしてくれる彼らのこれからが楽しみです。

豊高生としての矜持を

53期 杉浦郁夫(生物科)

卒業してから十二年が経ち、教員という立場で帰ってきた豊中高校。この十二年間で変わっていることも、変

わっていないこともたくさんありました。

百年という長い時間の中でもずっと変わらないものは何か。一つ挙げるとすれば、私は「豊高生としての矜持」であると、私は思います。簡潔な結果よりも、堅実に成果を積み重ねて高みを目指し続ける姿勢は、時代を超えて多くの豊高生に共通する姿でしょう。

成果主義が浸透し、結果ばかりが重視されがちですが、良い結果には堅実に裏打ちされた過程があります。目的の本質を理解し、伝える熱意を持ってこそ、その言葉が拙劣であっても人を動かすのです。

小手先の知識で点数を稼ぐことよりも、本質を理解することで課題を解決する姿勢。この姿勢によって育まれるものこそ、豊高生としての矜持だと思います。これから先の百年、また様々なことが変わっていくでしょう。その中でも、この矜持だけは変わらずにあってほしいと思います。

「豊高古典」に込められた想い

33期 橋本由美子(国語科)

高3の時、自分の将来に「教師はなに？」と迷っていたのに、母校の教壇に立つ身となろうとは……。

私の高校古典との出会いは、我々が33期の担任団でいらつしやうった國本先生に導かれてのものでした。佇まいも口調も「やさし」だったなあ懐かしく思われます。

今の豊高生は「豊高古典」で古典と出会います。古く失われた世界としてではなく、生き生きとした古典の世界を実感してほしいという国語科の実践から生まれた豊高独自テキストです。そこに漢文の重要句法等を覚えるための「漢文之扉」と題する、豊高生活を題材にした文章があります。例えば「開校歌未嘗不誇豊高精神也。我等始一日之

業、輒聞校歌。如不知校歌、不能為豊高生。」句法を暗記するだけでなく、自己を見つめ、友と切磋琢磨し高め合う高校生活を送ってほしいというメッセージも込めています。

共に過ごした仲間との絆が生きる力となる、そのような高校生活をこれからの豊高生も体験してほしいと思います。

(筆者注釈)漢文部分の読みをご参考まで。

「校歌ヲ聞ケバ未ダ嘗テ豊高精神ヲ誇ラズンバアラザルナリ。我等一日ノ業ヲ始ムルニ、輒チなわチ校歌ヲ聞ク。如(も)シ校歌ヲ知ラズンバ、豊高生タル能ハズ。」

豊高・校風、感謝・継承

27期 石田省三(社会科)

42年前の入学式。さんざん降りの雨で、旧講堂はあちこちで雨漏りをしていて。増改築で、理科の講義室や視聴覚教室をH R教室にしていた。完成した新体育館は真っ白に輝き、乱暴に扱って傷つけたらいいけないと気を遣っていたような気がする。

40年ぶりに入った体育館の壁・床はおとなしく目立たず、輝く生徒が主人公という学校によくあっていた。母校に教員として戻ってきてどうですか、とよく聞かれますが、教員として勤めてきた過去の学校との比較として、豊高の違いを感じるこのほうが大きい。授業にも行事にも目いっぱい純粋に打ち込める豊高生は昔と変わっていないと思うし、現在の社会では高校生として恵まれていると感じる。保護者や地域の方々の支えに感謝するとともに、教員という立場で生徒たちのそういう環境を守り継承することを、教員生活の締めくくり(おそらく)の職場での仕事と考えている毎日です。

豊高あんなこと、こんなこと

豊高時代・青春の頃

豊陵会ホームページで「豊高どうだったでしょうアンケート」を実施しており、今回、会報でも設問①～④は同じく⑤～⑥は新しく設けてお尋ねしました。（ホームページは「豊陵会」で検索してください。）

- ① 修学旅行はどうでしたか
 - ② 下校途中どこに寄り道しましたか
 - ③ 名物先生について書いてください
 - ④ 体育祭の思い出を書いてください
 - ⑤ 「豊陵会」といえばどんなことを連想されますか
 - ⑥ あなたの同期会に何を思い浮かべますか
- これらの①～④の質問に対し2つ、⑤～⑥で1つ選んで回答いただきました。

高48 和田あやか

- ① 帰りは貸し切り夜行列車でした。
- ② 豊中駅前のニチイの地下やミスタードーナツ。
- ③ 一昨年8月に同期会があり懐かしい仲間や先生方と再会、とても楽しい時間でした。

高42 山中(旧姓 山形)美由紀

- ① 長崎・壱岐で地引き網でとれたての鯛をその場で食べて、あまりに美味しくて。
- ② 正門前のお好み焼き屋さんや豊中駅前ミスドに行き、長時間しゃべっていました。よくあんなに話すことがあったなと思います。
- ③ 浅井由彦先生が熱心に活動されていて、頭の下がる思いでした。

高41 中嶋(小林)ちさ

- ③ 大きい森ちゃんと呼んでいた数学の

森幸之先生。小さい森ちゃんはお亡くなりになった真一先生。「玉ねぎ、玉ねぎ食べたら頭が良くなる。淡路の玉ねぎ食べて育ったから頭良くなったんや」とおっしゃっていました。

- ④ 応援団！衣装作りも楽しかった。それも家庭科への道へと導いてくれたかも。

高39 重村桜子

- ⑤ 高校時代は私とは無関係な部屋、物でしたが、今となっては大切な架け橋ですね。
- ⑥ 豊高時代は青春の一ページです。今も同期に会うとホッとします。

高38 佐藤琴波

- ② 豊中駅近くの31サティーン・アイスクリーム屋さん。
- ④ 数学の森先生
- ⑤ 精神的に高校生の頃に戻ってくる様子が思い出されとにかく楽しい。

高23 桑畑健一

- ① 信州・霧ヶ峰、具体的に何を見たか覚えていませんが、夜、先生の目を盗んで・・・ひとことおりの事はしました。
- ② 校門の直ぐにコロケ屋があり、クラブが終わったら毎日コーラとコロケを食べていました。
- ③ 豆谷先生(国語)、長瀬先生(数学)をはじめ個性豊かな先生が一杯おられました。でもサッカーと工芸をしに通っていた。私には梅本ウメモンと吉原先生は最高でした。
- ④ 遊びの要素など全くゼロの競技会でした。その中で唯一「クラブ対抗」だけは運動部・文化部それぞれが趣向いやおバカを競う企画でした。

高20 田村雅史

- ② 運動クラブだったのでそこお腹が減り豊中駅近くのお好み焼き屋さんへよく行きました。とにかく量が多く、味もそこそこでした。

- ④ 体育祭ではないが、雨の日はよく箕面の滝までランニング。帰り道、今のロマンチック街道なのですが何もなくて景色が変わらず、走るのは大変でした。

高21 加堂裕規

「思い出の、文化祭と体育祭」

名前だけは所属したクラブ(E・S・S・写真部、陸上部)よりも、「自治会クラブ員」と言った方がふざかしい私ですが、豊高史上初めてのことを三つ以上はしているでしょう。

その一つは、「文化祭にクラス参加を実現しよう」(それまでは文化部だけの参加だった)の小冊子を作り多数配布し全学に働きかけて、1年下22期の自治会でこれを実現。3Fクラスで「東北路」修学旅行乗組」を制作・展示参加を行ったこと。(現在のクラス劇などの源流となりました。)

二つ目は、「体育祭の前夜祭にファイヤーストーム!!」(こちらも、自治会顧問だった仲先生と「運動場に傷がつく」等の激論を繰り返し、(確かファイヤーの下に鉄板と砂を置いたのかな)、こちららも初めて実現。言い出しつべの私が、中央でマイクを握って司会をすることになりました。

3Fクラスは、100曲以上収録した、緑色の表紙の分厚い歌集を作った、始業と終業の日で必ず一曲みんなが歌うのが恒例となっていましたので、ファイヤーストーム用の葉(歌集)も、クラスのみんな(主に女子)が作ってくれて、演奏は前君達のギター部：(卒業アルバム)の、ファイヤーの薪をセクターにしたフォークダンスの輪の真ん

中で、仲先生と最後の詰め、の遣り取りをしている学生服姿の私が写っています。―この写真は豊陵会の資料室のバネルにあります―と、大成功のうちに終えることが出来ました。

卒業記念の豊陵新聞に「卒業に吠える!!」のコメント記事を書いたのは、今読み返すとかなり恥ずかしいのですが、卒業式の直後、物理の堀井先生が握手をして、「加堂で豊高の校風が変わった」と言っていました。そして、21期同期の集まりは今も沢山続いています。本当に素晴らしい、懐かしい、青春の豊高時代。多くの感動をありがとうございます。

高40 土橋章宏

白い場所

黒歴史の多い人生を振り返ると、一カ所だけ曇りなく、白く輝いている場所。それが豊中高校です。まわりに期待され、体力の全盛期を迎え、傷

一つない希望を掲げ、心を開ける友達がいって・・・そんな至福のときを青春に過ごせたことは貴重な経験だったと思います。豊中高は自由な学校でした。生徒の自立心を尊重し、一人の大人として扱っていた記憶があります。

しかしその先にはやはり大変な困難が待っていました。永遠だと思っていたものは続かず、威張ったり足を引っ張ったりする輩も出てくるし、心を込めても伝わらないこともしばしば。

そんなときは豊高時代を思い出して自分をリセット。パソコンで言うなら「復元ポイント」に戻って、以前の正常な状態にする「感じ」でしょうか。

流転しつつも今は作家をしており、今年の6月には超高速「参勤交代」という映画作品が公開されます。出てくるキャラは豊高時代の友達のようなおかしくて気持ちのいい奴ら。書きながら、何やら同窓会のような感じでした。よかったら見にいつてってくださいね。

■豊高と同時に百周年を迎える高校

2012年、「東京オリンピック」の翌年に豊高は創立百周年を迎える。

同年生まれの高校が全国にいくつかある。大阪では宣真高(池田)・大体大浪商高(松原)。東京・新宿高(旧東京府立6中)、隅田川高(同7中)。校歌は幸田露伴作詞・廣田龍太郎作曲)。神奈川・湘南高(校歌は北原白秋・山田耕筰)。各高校のホームページで校歌が聴ける。

大正時代に創立された府立旧制中学校を前身に持つ高校で高津(大正7)・今宮(同8)・生野(同9)がひと足早く百周年を迎える。



◆JETRO日本貿易振興機構って具体的にどんなお仕事ですか？

独立行政法人という国の法律に基づき機構です。貿易・投資促進と開発途上国研究を通じ、日本の経済・社会の更なる発展に貢献することをめざして、日本企業の海外展開支援、外国企業の日本への誘致、日本の通商政策への貢献、開発途上国の支援と研究を行っています。具体的には、情報の収集・提供、商談機会の設定、商談支援等を行うほか、通商政策への提言等を行っています。

◆JETROに就職されたのは、どんな経緯で？学生時代のことを...

豊高時代、大学に行って就職してお嫁に行くのだろうと漠然と考えていた程度でした。みんなそんな感じでのんきなものでした。今の人は早くからキャリアプランとか言われて大変ですね。

高校2年で父が他界。四年制大学卒の女子の就職はないといわれた時代、さすがに大学に行ったりして大丈夫だろうかと考えましたが、母に「目先のことでなく、長い目で考えなさい」と言われ、大学に進学しました。

米国の大学では実学教育に力を入れていましたが、日本の大学ではまだその是非論を戦わせていた頃で、大学も今のようにはキャリアデベロップメントに入れておらず学生は放し飼いでした。自由度が高いということは、自分で生活の



私の針路

立派でなくても、 自分なりの軸を持つ

北条(藤田)尚子

さん(高32期) 日本貿易振興機構(ジェトロ) 総括審議役(国内外事務所担当)

軸なりを作っていかなくてはいけない、ということですが、私は時間拘束の多いクラブ(ESS)に入ることで、突然増えた自由を持て余さないようにしたように思います。基本的な生活の周縁で大学生活の自由さ、多様さを満喫できました。大学(同志社)は京都にありましたが、日本の伝統も身近に体験できました。すぐに役立つキャリア形成ではない部分で、後々にもためになったことは多く、大学進学を後押ししてくれた母には感謝しています。

ESSでは、ディスカッションやディベートをするのですが、当時(80年・84年)のテーマはレーガノミクス、日本の対米貿易黒字と通商摩擦、ソ連のアフガン侵攻、原発の是非、環境問題などの時事問題でした。

今のようにインターネットはなく、情報へのアクセスはもっぱら図書館での資料・文献検索でした。図書館データの電子化はされていないに等しく、図書カードによる検索でした。当時の大学図書館は時事ネタを扱う資料は少なく、大学外の専門図書館に資料を当る必要がありました。当時、大阪・備後町にあったJETRO図書館には国内外の統計資料が揃っていたほか、国際問題に関する時事問題がテーマの雑誌・文献などがありました。今ほど海外旅行も身近でなかった頃ですので、これらの

資料に世界が広がる思いがしました。こんなところで働けたらいいなあと思っていましたが、縁があっけなく就職しました。

◆いま貿易に関心が高まっているが、日本が海外から輸入しなくてはならない物、日本からしか輸出してない物って何ですか。

エネルギー(ＬＮＧ、原油、石炭)、原料、食糧など、海外から輸入しないと経済、社会が維持・発展できないものばかりです。

輸出は自動車や鉄鋼、電子・機械部品などが主力品目ですが、貿易収支では近年は赤字傾向となっています。ただ、経常収支の項目のサービス収支の中にある特許等使用収支をみると、黒字の拡大傾向があります。日本からしか：なのかわかりませんが、日本の技術・ノウハウが競争力をもっている証左だと思います。最近では農水産物や日本食の輸出に力を入れていますので、これが競争力をもち、新しい伸びしろとなるといいですね。

◆青島所長時代に「暴動事件」という大変な経験をされましたね。日本にずっと住んでいたら気づかないような、日本文化の特色って何でしょうか。

海外で生活するにあたり自分の文化や価値観で異文化をジャッジjudgeしないことを決めていました。違いを知って面白がる、という気持ちでいましょう...と。

駐在地(中国)では経済発展の真っ最中でしたので、「沢山」が心に届く価値で、「断捨離」「節約」の国から来た私としては、面白かったです。

1個買うと1個もらえんとか、2個買うと半額とか、プレゼントは大きくて重いものがよいとか。そういえば昔「大きいことはいいことだ」というコマーシャルが子供の頃にあったなあ、と思い出したりしました。

えこひいきのない視点で「やはり日本はいいなあ」と思ったのはモノ・サービスなど諸事丁寧であることです。一期一会を大事にする文化で、対人・対物両面で丁寧だと思います。

水や水蒸気が多いことに関係があると思いますが、季節の移り変わりが穏やかで季節感があり、色彩は中間色が多く、諸事穏やかな点が日本のよい点だと思います。

◆グローバルな仕事を指す若者が、身につけておいたほうが良いスキルや、経験しておいたほうが良いことって何でしょうか。

スキルとすればよく言われるのは言語(コトバ)なのでしょう。異文化との接触は自分の価値観を揺さぶられることが多いので、その時の「自分なりの軸」、立派なものである必要はないですが、行動・思索を通じて自分で何とかして作った価値観・規範を持つておくことが大事だと思います。



■関東・豊高八会が開催

10月25日(金) 12時から、シェンロン東京

今回は、女性3名を含む30名が集まりました。ご出席の皆様から昔懐かしい思い出話や、いろいろなスピーチをいただき、和気藹々とした会合となりました。当日は台風が接近し開催も危ぶまれるほどの天気だったのですが足元が悪いにもかかわらず、ここ数年では最も多い30名もの方々にご参加いただきました。参加された方々は皆様お元気で、来年の開催も異論なく決まり再会を楽しみに散会しました。(幹事 江野協正義)



■豊友会一二三会同窓会(中学23回・高1期)

4月21日、関西文化サロン

傘寿と米寿の間ということでホップ、ステップ、ジャンプの中をとったステップという名称で開催しました。今回は27名が出席、住田健二君の原子力の話に続き川島康生君の医学界の話聞き、宴会は盛大に全員よく飲みよくしゃべり本田菊治君の音頭で校歌斉唱、次期再会を約束して元気に解散しました。(福本桂三)



■豊三会(高3期)の最終総会、ヒルトン大阪で開催

昭和26年6月卒業以来続けてきた高校3期総会、寄る年波には如何ともしがたく傘寿を迎え参加者も毎回減る現況となりましたので、平成25年11月11日16回をもって最終回となる総会を開きました。それでも関東や九州方面からも多数参加があり53人が集い、大盛会で楽しい1日を過ごしました。最後はお互いの健康と長寿を誓い合い、校歌斉唱で解散しました。なお、豊三会解散に伴う清算金31,890円を豊陵会に寄付いたしました。(川島保春)



■高19期同期会開催 6月29日、ホテルアイボリー

出席者は、恩師の先生、田中繁之先生、市村拓郎先生、今安達也先生、丸岡一清先生の4人、男性36名女性34名の合計74人です。東京からも大勢参加頂きました。恩師の先生方には、人生の先輩として含蓄あるお話を頂き、同期生皆久しぶりにお会いして、話の尽きることがなく、四次会まで延々と続けました。(幹事 岡嶋 豊)



■男子ハンドボール部同窓会

2013年10月19日 大阪・梅田

男子ハンドボール部顧問であった広川達男先生にご指導を仰いだ37期生から44期生までの卒業生26名(女子部員・女子マネージャー 6名を含む)が大阪・梅田の居酒屋に集まり、37期生の先輩による乾杯の発声で食事はスタートしました。豊高時代の面影がどこに残っており、しんどかった放課後の練習や地方合宿、他校との試合の記憶がすぐに蘇ってきました。2次会&3次会と場所を移し、広川先生からは当時のマル秘のお話もお伺いすることができ、楽しく充実した時間を過ごしました。次回同窓会は2014年3月を予定しております。(美藤直人)



■高4期同期会を開催 9月18日 於ホテルアイボリー

高4期生は卒業61年目で、皆80歳の大台にのりますが、関東からも九州からも出席があり、48名の参加となりました。これまで元気にやってこれたことを祝って、会は大いに盛り上がりしました。なじみのあるホテルアイボリーのオーキッドホールで、みんなで校歌を歌って(写真)参加しました。高4期生の同期会は2年に一度開催されていましたが、平成22年からは更に毎年ということになり、今後どうしようかと考えているところです。(岡 恒夫)

同期会クラブだより



■高校24期還暦同期会 6月22日 ヒルトン大阪

酒井先生、宮城先生、山形先生、保田先生をお迎えし、126人が集まりました。林幹事の挨拶と先生方のお話のあとは、高24期の今回はプログラムなしで席を自由に移動し旧交を温める3時間です。おいしいお酒とお料理をいただきながら、あちらでもこちらでも大いに盛り上がりました。後藤君が撮影の写真と、会計報告は、MSNスカイドライブで見ることができるようになり、きれいで便利、経費節減にもなりました。クラスの役員さん、ありがとうございました。皆様、5年後に元気で会いましょう。

(深井玲子)



■“豊七サロン”は10周年を経過!

2人続いた7期生の豊陵会長が退任され、この間に築いた会員間の“絆”を強めようと“豊七サロン”が平成16年2月にスタートして、今年で11年目に入り、会合数は112回になりました。途中参加者も多数です。望月ビル(株)の会議室を無料で借りています。述べ約70人の講師による講義・20回以上の春秋の歴史景勝地探訪、毎回の会食などの集まりを持ちました。特別宴会も年3回あります。すべての企画運営・講師・宴会の余興などは会員が行います。講義では、経験談・趣味の話・高齢者に必要な健康・介護に関する話・旅行記(映像)ほか幅広い知識が多方面に広がります。“感動・ときめき・好奇心”をモットーに元気に楽しく過ごしています。昨年後半から“川柳を楽しむ”という講座が始まりました。毎回30人弱(10人強は女性)の参加があり、まだまだ続きそうです。

(記・望月・西山)



■高17期の関東地区同窓会

平成26年2月16日～18日

10数年ぶりに関東地区同窓会を開催しました。2月16日～18日のロングラン同窓会でした。幹事は男性6名、女性4名、参加者は男性23名、女性21名で関西からも7名が参加。16日昼に上野公園西郷銅像前に集合し散策出発。日暮里駅前の天王寺へ。お寺の内外を同級生の住職夫人に案内してもらいました。一次会は八重洲富士屋ホテルで。17日は鎌倉駅に集合し、大量残雪の鶴岡八幡宮や円覚寺などを散策。夜は葉山の保養所で宴会。18日はレトロ江ノ電で極楽寺駅から大仏さんや文学館を散策。横浜中華街の晩餐会でお開きと相成りました。来春は卒業50周年記念なので、大阪と東京の中間の浜名湖館山寺温泉から奥三河の湯谷温泉で、2泊3日のお泊り同窓会を開催予定。

(廣瀬 純)



■高校30期卒業35周年大同窓会

11月3日(祝)、ホテルアイボリー

藤上先生、多々先生、桑田先生の3人の恩師もご出席いただき、同窓生116人が集まりました。同窓会幹事による挨拶、鬼籍に入ってしまった同窓生への黙祷、先生方のスピーチに続き、歓談・食事タイムとなりました。4時間があっという間に過ぎていき、最後に全体写真ととり、校歌を歌って、5年後(59歳)の再会を約束しての散会となりました。

次回は5年後に通常通りの大同窓会を開催し、6年後の還暦祝いにどこかへ旅行でもしようかと企画中です。当日の写真や参加者の名前はHP(<http://www11.ocn.ne.jp/~toyoko30/>、または豊中高校30期で検索)に掲載しています。なお、当日は、全員から1000円の豊陵会への寄付金を会費と共に集め、総額116,000円を寄付させていただきました。

(名和道紀)

<http://www.haga.co.jp/>

大阪 東京 上海 広州 常州

省エネ

環境

ダイキン空調

HAGA メカトロテック商社
芳賀電機株式会社



メカトロニクス

安川ロボット

KDE・FA システム

KDE

<http://www.kde.co.jp/>

中23回 芳賀 洋・高15期 越智 克司

豊陵山歩

■「豊陵山歩」今後の予定

5月6日(火) 東お多福山▽6月7日(土) 松尾山(嵐山)▽7月27日(日) - 29日(火) 金峰山・瑞牆山▽8月25日(月) 頃 剣岳▽9月20日(土) 御破裂山▽10月5日(日) 古光山▽11月24日(月) 明ヶ田尾山▽12月13日(土) 三峰山(泉佐野)▽平成27年1月11日(日) 神於山▽2月7日(土) お菊山▽3月28日(土) 六甲縦走路▽4月5日(日) 青根ヶ峰
日程・行き先を変更することがあります。

豊陵会のホームページをご覧ください。近郊の集合は午前8時 阪急豊中駅前。運営費200円。問い合わせ＝大久保、中村(9期)、芳野(12期)、広瀬(17期)まで。

昨年7月末の北岳は快晴。富士山から北・中央アルプス等360度の展望が素晴らしい大いに満足。翌朝は一転、山頂付近は風雨が強く、山の自然を充分味わった。

9月の磐梯山はあいにくの雨で視界が悪かったが、下り途中で猪苗代湖や会津の田園地帯を望むことができた。会津の町は観光客で賑わっていた。

12月の笠形山は交通の便が悪かったが播州の山々と六甲山、瀬戸内海が一望できた。気温は氷点下だった。久しぶりに大きな霜柱を踏みしめ山歩きを楽しむ。

会員の皆さん健康維持のためぜひご参加ください。お待ちしております。



■高齢で解散つづく同期会

▼高3期 11月11日ヒルトン大阪で開催した第16回総会で同期会としての活動の幕を閉じた(20P参照)。高3期は旧制豊中中学に入学し3年次を終えた1948年(昭和23) 4月、新制高等学校が発足し新高校3年間まるまる過ごした。今年82歳、世話役も出席同期にも「不自由」が加わり今「潮時」と考えたという。

▼中学23回で卒業した人(中学5年終了)と、あと1年高校に通い高1期として卒業した人との合同同期会は卒業期をもじって「一二三会」。84歳の時「傘寿と米寿との間をつなぐ意味を込めてホップステップのステップ会を開催27人の出席」「他に毎月有志で飲み会をやっている」「とにかく米寿まで続けるつもり。それ以降はまだ決めていないがオリンピック迄ということになるかも?」。

▼高2期「青池会」の公式活動は平成21年の「傘寿会」で終了。以後は毎年10月第2木曜日に有志が集まっている。

▼高6期は1972年の第1回から2012年の第24回(出席72人)が最後になった。「体調を崩す人、亡くなる方が増え、世話役も大変になってくる」。

▼「高八会」も4月14日の「喜寿総会」で全員に呼びかける開催を終えクラス幹事会(27人)を残し、「有志」が一定の日に集まる会合に切替えるという。卒業生446人(死去71人、不明26)。351通の案内状に出席予定103・欠席138・無回答110。「今後連絡は不要」とした人が67人だったという。

▼高9期は1月21日、近畿在住者27人で新年会。3～5年に1回期全体の旅行会を開催。30～40人が参加。「今後のことまではまだ議題になっていない」という。他の期でも「全体に呼びかけて開く総会は終りにするが三々五々、一定の日程で懇親を深める会合は続けるという。」「とにかく米寿まで続けるつもり」それ以後は「まだ決めていないがオリンピック迄ということになるかも?」(高1)という元気な先輩がいる。

■豊陵会に現れる影響

「総会出席の減少」「協力金の先細り」の心配がすでに「協力金」収入に現れている。高1～高10は豊高の草創期という自負や母校愛で協力金の主流を占めてきたが高齢化とともに減少。高11～高17に山が移動しつつあるものの、若い卒業期になるにつれて参加数が極端に減少する。豊陵会財政にとって深刻な課題である。

●ここ10年間、高1期～10期の「協力金」参加者数

2003年(平成16) =945人、05年=757人、06年=834人、07年=745人、08年=854人、09年=743人、10年=691人、11年=286人、12年=330人、13年=453人。

(豊陵会報「協力金」掲載の氏名からカウント)

■先輩幹事から後輩への「助言」

「同期会を息長く続けるにしっかりした幹事が必要。クラスから選出の多人数での運営は若いうちは結構うまくゆくが経年とともに委員を辞める人が出て運営が難しくなる」「同期全体に対して人望と力のある人物を代表幹事に置いて各クラスからも世話役を出し、その方々が中心となって開催する。クラスごとの持回りは一見公平そうに見えるがクラスによって強弱があり難しいところもある」「同期会を開催していない期はホームカミングデーを期にぜひ立上げては…」。

※アンケート取材に高1 福本桂三・高2 浅井由彦・高3 川島保春・高5 友國泰治・高6 上神英二郎・高8 村下克利・高9 木津慶一さんの協力をいただきました。

■高15期古稀同期会 平成26年10月末前後開催

■高16期同期会「銀杏会」

案内状は発送済み。高校卒業後50年となる今年、第10回記念銀杏会を開催。昭和59年に初めて開催した銀杏会も10回目となり、またプレ古希の集いとして盛大に開催したいと考えております。多数の方のご出席をお待ちいたしております。

日時 平成26年5月31日(土) 4:30～

於: 宝塚ホテル(宝塚南口駅前)

詳細は、各クラス幹事、又は、A組喜八洲総本店、中田まで。

■高21期同期会

2年毎に毎回100名規模の出席で開催してきました21期同期会。今回はF、G両組が当番幹事で、下記の要領にて開催。みなさん声を掛け合い、さらに多数のご出席を楽しみにしています。(幹事代表…F組・荒木隆、G組・中川博司)

日時: 2014年11月23日(日)

午後2時～5時(一次会)・(二次会あり)5時～7時

会場: アサヒスーパードライ梅田http://r.gnavi.co.jp/k022208/(梅田新道交差点、ニッセイ同和損保フェニックスタワーの地下1階)

会費: (一次会)6,000円予定・(二次会)2,000円予定

■高32期同期会

平成27年1月3日(土) 11時～ 於: ホテルアイボリー

Fukushima

フレッシュ・バリューをあなたとともに

福島工業株式会社

代表取締役 福島 裕(高21期)

きっと、スーパーやレストランで、
お会いしていると思います。



福島工業

検索



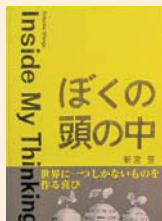
会員の本

BOOKS

■「ぼくの中」

新宮晋(高8)ブレンセンター

世界を舞台に、風や水で動く彫刻を作り続けているアーティスト新宮晋さん。新宮さん自らが世界各地にある作品について手描きのデッサンや文、写真で楽しく解説している。



■「19世紀パリのサロン・コンサート」

福田公子(高14)北星社

200年前のパリに開花しリストやショパンなどの音楽を生み出した「サロン」文化。この「サロン」について、主催者、音楽家、演奏された音楽についての詳細な記録や解説を、軽妙な筆致と多くの図版により楽しく読める。



■「みんなで考えるニッポンの未来」

中野寛成(高11)ワニブックス

国家公安委員長等を歴任した元衆議院議員の中野寛成さんが、ガンジーの政治哲学・思想を下敷きに、中野さんの政治家としての足跡や、日本の未来に何が必要か分かりやすく語った書。



■「生田の社とミナト神戸の事始め」

加藤隆久(高5)戎光祥出版

生田さん(生田神社)の発祥、成り立ちと古事記にも関わりのある神戸の歴史、古くから交通の要衝であった神戸の町、知らなかった神戸居留地の風景など、カラー挿絵満載で神戸ひとり歩きができる一冊。



■「超高速参勤交代」

土橋章宏(高40)講談社

ときは江戸時代、時間もお金も人もないという困難な状況のもと参勤交代を行わないと藩取り潰しという危機に陥った小藩が、殿様以下わずか7人で江戸に向かう。さてその道中は？ハラハラ、ドキドキ一気に読ませる痛快な作品。



■「アール・ヌーヴォーのデザイナー

M. P. ヴェルヌイユと日本」

廣瀬 緑(高37)株式会社クレオ

本邦初のヴェルヌイユの作品とデザイン理論を紹介。ジャポニズム、アール・ヌーヴォー愛好家必見の書。



編集後記 「習うより慣れよ」で95号は、豊陵会報編集初心者マークの部員を中心に作業をし、ベテラン編集部員の多大なバックアップを受けながら、発行に応援・協力・尽力下さる方々の言葉と汗と心が届くたびに、ほんとうにうれしく思う95号編集の日々で、ご厚情に感謝致します。ほんとうにありがとうございました。▼中でも今回、豊中市役所より広告をいただけたことは、双方にとってとてもよかったと思います。▼そして紙面内容・編集手法・財務状況の質を高めるべく、まだまだ情報や記事・広告・編集部員を、熱く厚く募っておりますので、ぜひとも更なるお力添えをお願いし、ご参画を心待ちにしております。

■豊陵会報第95号は次のメンバーで編集をしました。

高15越智克司(担当副会長)、高48野田健一・古澤頼秋、高37南里吉彦、高29蛸名美佳、高14依田昌彦、高9大久保孝・南野陽子、高8神保雅明、高3妹尾景行。

編集発行 豊陵会報編集部 大阪府立豊中高等学校・豊陵会事務局内

発行 平成26年4月20日

発行人 永田 武全

〒560-0011 豊中市上野西2丁目5番12号

☎(06) 6849-4973 (FAX兼用)

ホームページ <http://www.houryou.org>

メールアドレス office@houryou.org または kaihou@houryou.org

印刷 株式会社 廣済堂

◆表紙の言葉 実は卒業式の当日のことは、あまりよくは覚えていません。こんな風に、桜が舞い散っていたのではないと思います。でも、思い返す卒業式のイメージはみんなそれぞれの道を、きらきらと翔んでいく桜の花びらのような。恩師担任先生から、「みんな信じられないと思うかもしれないけど、今日でずいぶん会えなくなる友人もいるから、よくお話ししておきなさい。」と言われましたが、その時には実感がありませんでした。あれから35年以上の月日がそれぞれに流れました。ありがたいことに翔んでいった桜の花びらは散り散りになる事はなく、昨年卒業35周年同窓会を迎え、懐かしい再会に加え、新たな出会い直しも果たす事ができました。本当に母校豊中高校に感謝する今日この頃です。いつまでも、いつまでも、よきお友達に恵まれたこの幸せを、母校への感謝をこめて表現してみました。(手書き桜の水彩画と写真のCG処理) (高29期 野村俊哉)

会員数 (2014年2月28日現在)	
総数 30,971人	旧職員 519人
高校 28,466人	併中 120人
中学 1,757人	現職員 109人

会報発行部数	
発行部数 23,000部	
会員発送数 21,300部	
学校配布 1,200部	

まごころ葬儀を創造する。



KOEKISHA

●監査役<社外> 森野 實彦 (高10期)

●特別顧問 中島 守 (高22期)

もしもの時は、
いつでもお電話ください。

公益社 ご葬儀相談センター

0120-567-701

ご葬儀・資料請求など24時間・365日受付。通話料無料、携帯電話OK。

※2014年2月現在 ※記載の内容は予告なく変更する場合があります。 [3-0000]

公益社 石橋会館

2013年4月オープン



洋館
国道沿線
庄園
青山前
交差点



公益社 千里会館 公益社 豊中会館

2014年 豊中中学・豊中高校

豊陵会総会のご案内



今年のゲストは
豊中高校ダンス部のみなさんです

日時 2014年5月25日(日)
11:00～14:00(受付10:30)

会場 ホテル アイボリー 3階オーキッドホール
(阪急豊中駅前・☎06-6849-1111)

会費 6,000円
[ホームカミング25] 卒業25年優待(高校41期生) 会費 3000円
新卒招待(高校66期生) 会費 無料

私たちダンス部は、50名を超す大所帯で森川ホールの一室で毎日練習しています。

昨年は、ダンス選手権という大きな大会で2回目の全国大会出場を果たしました。

「見ている人たちを笑顔にする」をモットーに地域の方たちにも活動の成果を披露する機会も増えてきました。

これからも、多くの人に喜んでもらえるよう、笑顔で頑張ります。

総会に出席ご希望の方は豊陵会事務局に5月9日(金)までにご連絡をお願いいたします。

- ・FAXの場合は、同封の用紙を使って 06-6849-4973 へ
- ・メールの場合は、office@houryou.org へ
- ・電話の場合は、06-6849-4973へ。但し月・水・金曜日の午前10時から午後3時までとなります。

東京支部総会は 6月21日(土) ハイアットリージェンシー東京で
中部支部総会は 11月15日(土) 名商グリルで

「豊陵会総会」の寄贈品提供のお願い

ご出席いただいた会員にとって会場でのオークション・販売等は大きな楽しみです。つきましては、会員皆様には是非とも一品でも多く寄贈品提供にご理解をいただき、ご協力を願います。

寄贈品は総会当日朝まで受付させて頂きますが、準備の都合上出来るだけ5月16日(金)までに事務局必着でお願いいたします。



街並みや環境との調和を図りつつ、
さらに安全で快適な事業用空間の提供を目指しています。

 京阪神ビルディング株式会社

〒541-0048 大阪市中央区瓦町四丁目2番14号

TEL:06-6202-7331

取締役会長 永田 武全 (高校15期)